



令和7年度全国学力・学習状況調査に係る 厚木市立小・中学校の調査結果について



厚木市教育委員会

目 次	ページ
1 調査の概要	1
2 調査結果の解釈等に関する留意事項	2
3 教科（国語、算数・数学、理科）に関する調査結果	3
(1) 小学校 国語の主な結果（平均正答率）について	4
(2) 小学校 算数の主な結果（平均正答率）について	9
(3) 小学校 理科の主な結果（平均正答率）について	13
(4) 中学校 国語の主な結果（平均正答率）について	17
(5) 中学校 数学の主な結果（平均正答率）について	22
(6) 中学校 理科の主な結果 （平均正答率及び IRT スコア）について	26
4 児童・生徒質問調査の結果	31
5 考察	40
6 あつぎの学びの充実・改善のヒント	47

令和 7 年度全国学力・学習状況調査に係る 厚木市立小・中学校の調査結果について

小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。教育委員会では、今回の分析結果を踏まえ、教育施策の成果や課題等を把握・検証し、今後の教育施策に反映するとともに、各小・中学校において、校長のリーダーシップの下、各教員が指導内容・方法の改善を進める支援をしてまいります。

Ⅰ 調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 学校における児童・生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ウ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象学年

小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年

(3) 調査の内容

- ア 教科に関する調査 小学校：国語、算数、理科 中学校：国語、数学、理科
 - ※ 国語、算数・数学及び小学校理科は、冊子を用いた筆記方式で実施しました。
 - 中学校理科は、生徒が活用する ICT 端末等を用いた、文部科学省 CBT システムによるオンライン方式（以下「CBT」という。）で実施しました。
 - ※ 平成 30 年度までは、「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を分けて調査していましたが、平成 31 年度調査から一体的に問われることとなりました。
- イ 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
 - ・ 児童・生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
 - ※ 児童・生徒の活用する ICT 端末等を用いた CBT で実施しました。
 - ・ 学校に対する質問調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）
 - ※ オンラインによる回答方式で実施しました。

(4) 調査の方式

悉皆調査

(5) 調査日

教科に関する調査（中学校理科以外）：令和7年4月17日（木）
生徒質問調査、中学校理科：令和7年4月14日（月）～17日（木）
児童質問調査：令和7年4月18日（金）～30日（水）

(6) 調査に参加した児童・生徒数

	国語	算数・数学	理科	児童・生徒質問
小学校	1,597 人	1,601 人	1,601 人	1,608 人
中学校	1,656 人	1,654 人	1,673 人	1,677 人

※ 令和7年5月1日現在 小学校第6学年在籍児童数 1,742 人

中学校第3学年在籍生徒数 1,884 人

(参考) 全国・県・市の公立学校の参加校数

	小学校	中学校
全国（公立）	18,313 校	9,311 校
神奈川県（公立）	848 校	419 校
厚 木 市	23 校	13 校

2 調査結果の解釈等に関する留意事項

本調査は、幅広く児童・生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が特定の教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童・生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要です。

また、平均正答数（※1）及び平均正答率（※2）については、各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはしておらず、年度によって出題内容も異なることから、過年度の結果と単純に比較することは適当ではないことに留意が必要です。

※1 平均正答数は、児童・生徒の正答数の平均の値です。

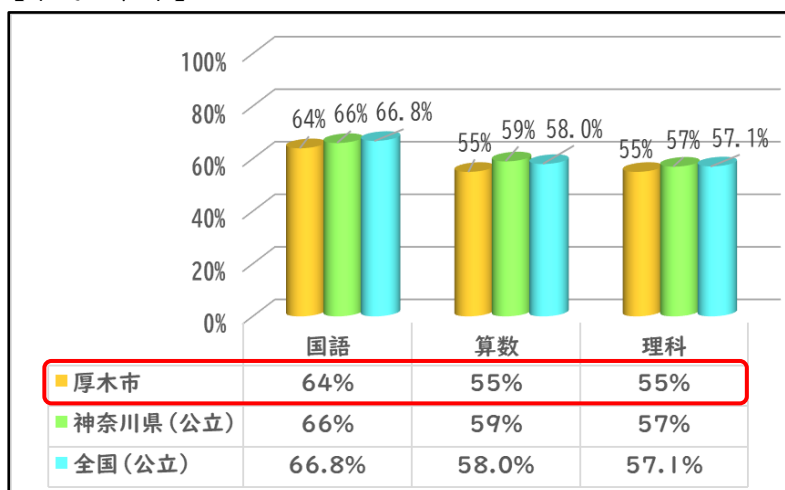
※2 平均正答率は、平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）です。

県及び市の値は、小数第1位を四捨五入した整数値で国から提供されています。

3 教科（国語、算数・数学、理科）に関する調査結果

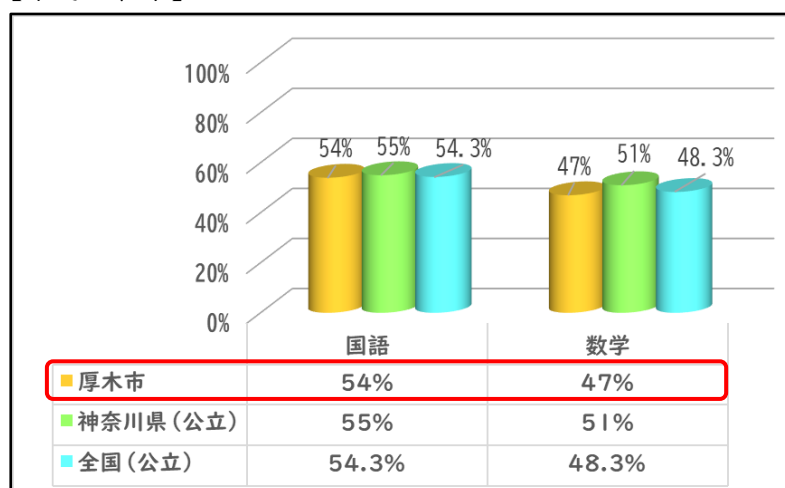
小学校

【平均正答率】

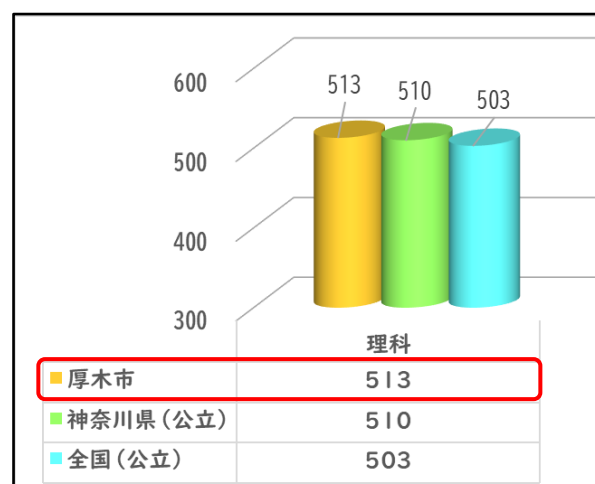


中学校

【平均正答率】



【平均 IRT スコア (※ 3)】



※ 3 IRT (項目反応理論) は、一人一人の問題の正誤状況を活用し、調査に取り組んだ人の学力を測定する方法です。

IRT スコアは、IRT (項目反応理論) に基づいて各設問の正誤パターンから学力を推定し、500 を基準にした得点を表すものです。

平均 IRT スコアは、算出された各生徒のスコアを足し合わせて平均をとったものです。

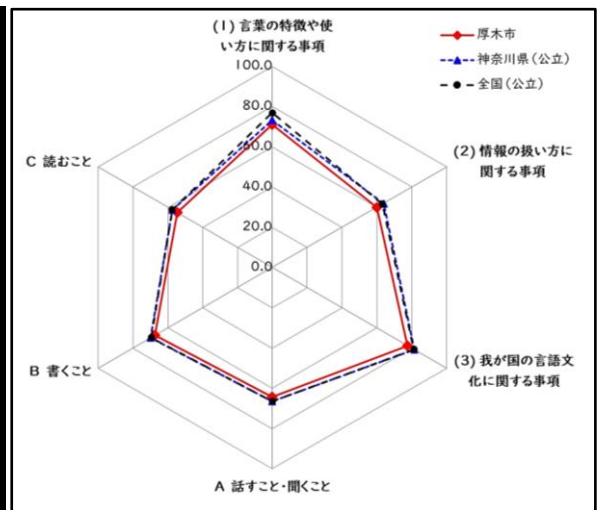
(1) 小学校 国語の主な結果（平均正答率）について

【学習指導要領の内容】

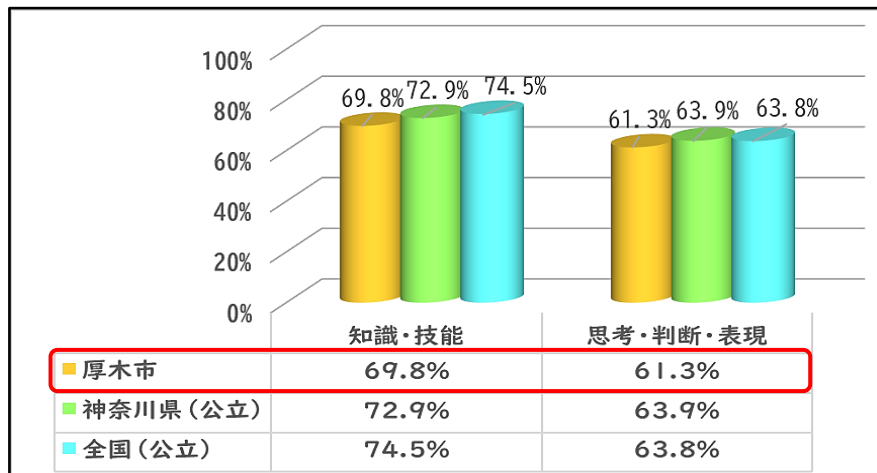
(単位：%)

分類	学習指導要領の内容					
	知識及び技能			思考力, 判断力, 表現力等		
区分	(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2)情報の扱い方に 関する事項	(3)我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと
厚木市	71.0	59.9	77.5	64.2	67.4	54.6
神奈川県 (公立)	73.3	63.7	81.3	66.5	69.9	57.5
全国(公立)	76.9	63.1	81.2	66.3	69.5	57.5

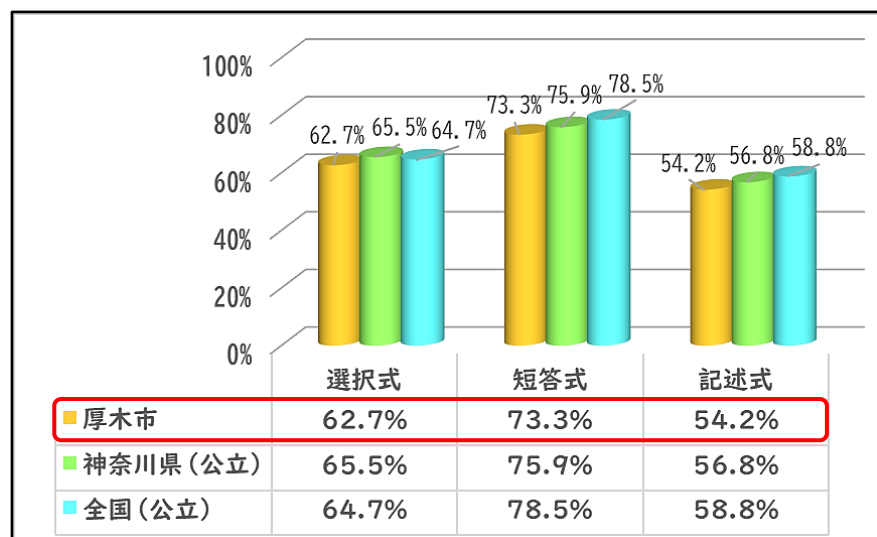
(単位：%)



【評価の観点】



【問題形式】



【問題例】

【小学校 国語】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も高い問題

2 伝統工芸品について推薦するちらしを書く 設問二

〔出題の趣旨〕

図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	83.0%	83.2%	81.8%	+1.2

4

言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。

3

言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。

2

二つの図を並べて示すことで、もようの移り変わりを明確にするため。

1

言葉に関係のない図を示すことで、別のもようについての興味を高めるため。

二 山田さんは、理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(正答) 3

【ちらし】

手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさとは、どのようなものでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、好きなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。



季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。



しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

伊あついに、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事しやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

2

山田さんの学級では、伝統工芸品についてすいせんするちらしを書くことにしました。山田さんは、手ぬぐいのよさについてすいせんする文章を、次の【ちらし】に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

図と言葉を合わせて示すことで、自分の考えが伝わりやすくなることを捉えることはできていると考えられます。

【小学校 国語】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も低い問題

③ 複数の資料を読み、分かったことや考えたことをまとめる（言葉の変化） 設問三（1）

〔出題の趣旨〕

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	39.8%	42.7%	40.8%	-1.0

(1) 【話し合いの様子】の A

までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 【資料1】の部①

2 【資料1】の部②

3 【資料1】の部③

4 【資料1】の部④

※ホームページに掲載されている調査問題の資料1の箇所は、(文化庁国語科「文化庁国語課の勘違いしやすい日本語」による)と表記され非表示となっています。

言葉の変化については、いろいろな考え方があんだね。もう一度【資料1】を読み返して、言葉の変化について自分が一番納得したことをまとめよう。

「雨模様」の意味のとりえ方

世代	雨が降りそうな様子	小雨が降ったりやんだりしている様子
16-19さい	50.4	31.9
20代	43.5	42.9
30代	34.1	53.7
40代	33.4	53.9
50代	26.1	61.2
60代	33.6	52.6
70さい以上	46.2	39.8

(文化庁『令和4年度国語に関する世論調査』による。)

私は、この資料（【資料4】）を見つけたよ。これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味のとりえ方にちがいがあることが分かるでしょ。

本当だ。三十代から六十代は本来の意味とはちがう「小雨が降ったりやんだりしている様子」ととらえている人の割合が高いね。

こんなふうに、人によって言葉の意味のとりえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、【資料1】に「A」と書かれているとおりだと思うよ。

こんなふうに、人によって言葉の意味のとりえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、【資料1】に「A」と書かれているとおりだと思うよ。

【話し合いの様子】

三 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら、【資料1】を読み返しています。次の【話し合いの様子】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましよう。

【話し合いの様子】

ぼくが読んだ二つの資料（【資料2】、【資料3】）には、言葉が変化していることが書かれていたよ。【資料1】に「言葉の正誤を軽々しく決めることはできない」と書かれていることにつながっているよ。

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに令和5年度調査から引き続き課題があると考えられます。

【小学校 国語】 全国（公立）の平均正答率との差が最も大きい問題

2 伝統工芸品について推薦するちらしを書く 設問四イ

〔出題の趣旨〕

学年別漢字配当表※に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる

※ 学年別漢字配当表は、小学校で学習する漢字を各学年に割り当てた表であり、各学年では、前の学年に配当された漢字を書くことを身に付けるよう指導することとされています。

〔学習指導要領の内容〕

知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	65.8%	66.7%	72.1%	-6.3

相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

イあつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

四 山田さんは、「ちらし」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イを漢字で書いてねいに書きましよう。

(正答) 暑(い)

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに引き続き課題があると考えられます。

【小学校 国語】 本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

3 複数の資料を読み、分かったことや考えたことをまとめる（言葉の変化） 設問三（2）

〔出題の趣旨〕

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	52.1%	53.5%	56.3%	-4.2
無解答率	18.7%	20.2%	16.2%	+2.5

（正答例）

- ・言葉は年月とともに変化するということになってくきました。なぜなら、「新しい」という言葉が、奈良時代には「あらたし」と言われていたように、時代とともに言葉の形が変わることがあるからです。
- ・「どんな言葉を使ってもいい、というわけではない」という部分を読んで、そのとおりだと思いました。なぜなら、世代によって「雨も様」の意味のとらえ方にちがいがあるからです。コミュニケーションの食いちがいが起こるとこまると思います。
- ・「言葉は生きている」ということになってくきました。理由は、言葉は時代によって同じ言葉でも意味や言い方が変わるからです。また、同じ時代であっても、人によって意味のとらえ方がちがうことがあるからです。言葉はつねに変化していることが分かります。

※ ホームページに掲載されている調査問題の資料1から資料3の箇所は、（文化庁国語科『文化庁国語課の勘違いしやすい日本語』による）、（飯間浩明『日本語をつかまえろー』による）と表記され、非表示となっています。

(2)

木村さんは、「資料1」を読み返して言葉の変化について自分が一番なっとくしたことを、「資料2」、「資料3」、「資料4」に書かれていることを理由にしてまとめることにしました。あなたが木村さんなら、どのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 言葉の変化についてなっとくしたことを「資料1」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- なっとくした理由を「資料2」、「資料3」、「資料4」の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと。

※ 次の枠は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに、令和5年度調査から引き続き課題があると考えられます。

（令和5年度【小学校】国語2 平均正答率 67.6%）

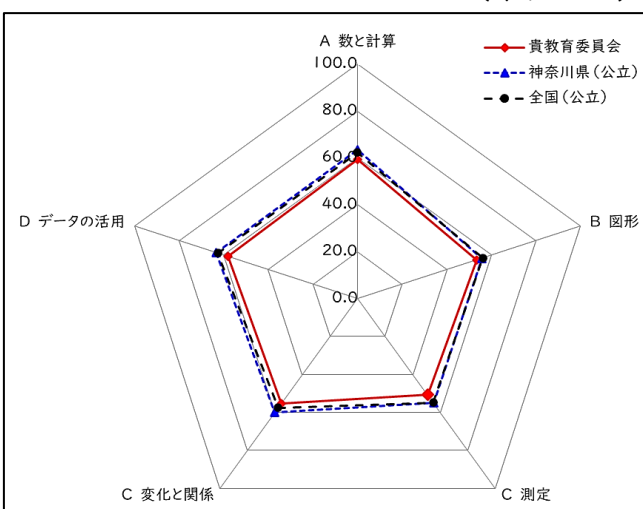
(2) 小学校 算数の主な結果（平均正答率）について

【学習指導要領の領域】

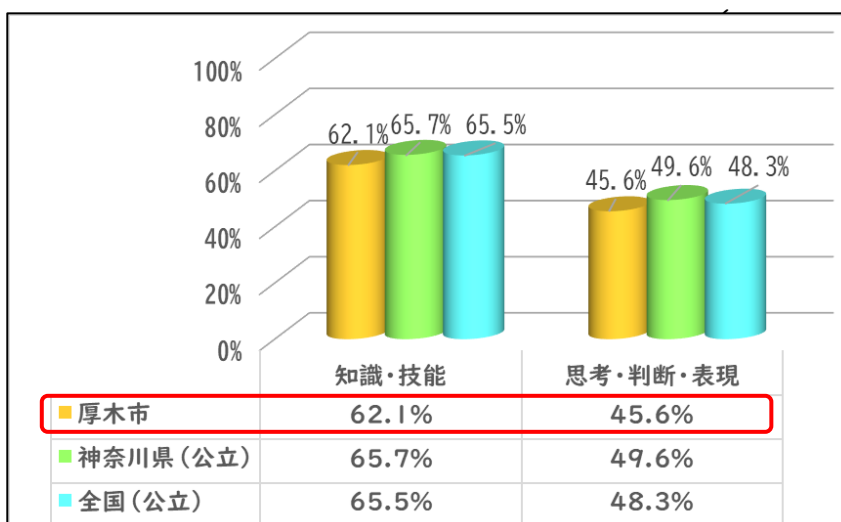
(単位：%)

分類	学習指導要領の領域				
区分	A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用
厚木市	59.3	53.3	50.8	55.3	57.9
神奈川県 (公立)	63.5	55.8	55.1	59.9	63.2
全国 (公立)	62.3	56.2	54.8	57.5	62.6

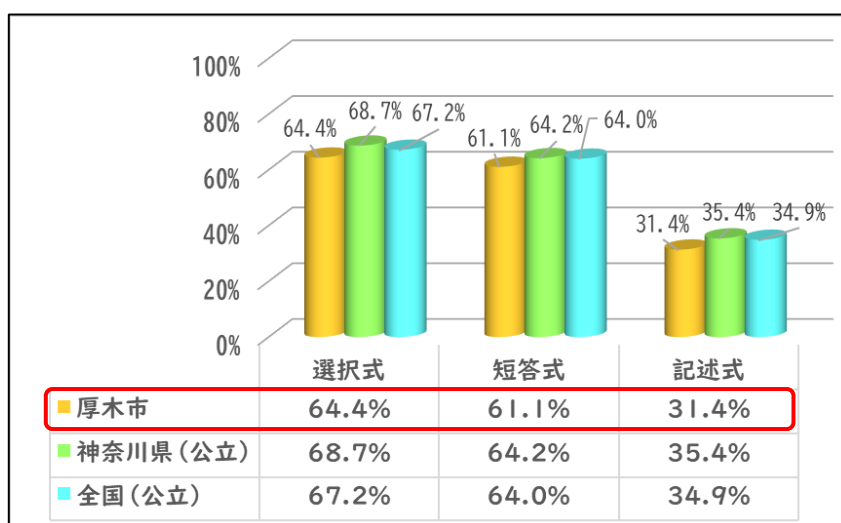
(単位：%)



【評価の観点】



【問題形式】



【問題例】

【小学校 算数】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も高い問題

4 日常の事象について伴って変わる二つの数量の関係に着目して考察すること 設問(1)

〔出題の趣旨〕

伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必用な数量を見いだすことができるかどうかをみる

〔学習指導要領の領域〕

A 数と計算 C 変化と関係 D データの活用

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	81.2%	84.5%	82.8%	-1.6

4

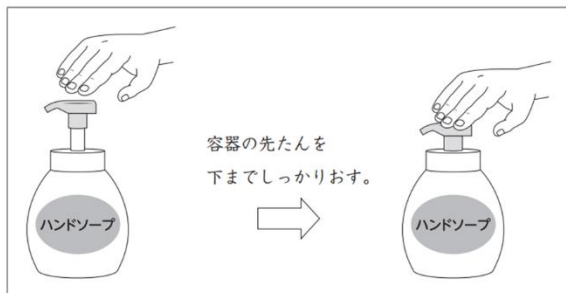
保健委員のあさひさんたちは、手を洗うときに使っているハンドソープについて話し合っています。



あさひ ハンドソープを空になるまで使うとしたら、何プッシュすることができるのかを知りたいです。

1 プッシュとは、容器の先たんを下までしっかり1回おすことです。

1 プッシュしたとき、ハンドソープの液体が毎回同じ量ずつ出ることとします。



(1) まず、あさひさんは、保健室にある新品のハンドソープを空になるまで使うとしたら、何プッシュすることができるのかを考えています。



保健室にある新品のハンドソープには、ハンドソープの液体が240 mL入っています。

新品のハンドソープには、ハンドソープの液体が240 mL入っています。新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを知るためには、240 mLの他に何がわかればよいですか。

下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 1プッシュ分のハンドソープの液体の量 3 mL
- イ 1プッシュするときにおす長さ 2 cm
- ウ あさひさんが1日にプッシュする回数の平均 8回
- エ あさひさんが手を洗うときにかかる時間の平均 60秒

(正答) ア

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必用な数量を見いだすことはできていると考えられます。

【小学校 算数】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も低い問題
本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

③ 計算の仕方について統合的・発展的に考察すること（小数と分数） 設問（2）

〔出題の趣旨〕

分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる

〔学習指導要領の領域〕

A 数と計算

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	20.5%	24.7%	23.0%	-2.5
無解答率	16.1%	16.9%	15.7%	+0.4

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 1 個分です。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、2 + 1 を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。

もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

（正答の条件）

次の①、②、③の全てを書いている。

- ① $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ に共通する単位分数が、 $\frac{1}{12}$ であることを表す数や言葉（分母が12の倍数の単位分数を含む）
- ② $\frac{3}{4}$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉
- ③ $\frac{2}{3}$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉

（正答例）

$\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ のもとにする数を同じ数にするとき、その数は $\frac{1}{12}$ になります。 $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{12}$ の 9 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{12}$ の 8 個分です。

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

分数の加法について、共通する単位分数※を見だし、加数※と被加数※が、共通する単位分数の幾つ分かを記述することに課題があると考えられます。

※単位分数：もとにする大きさの分数 ※加数：加える数 ※被加数：加えられる数

【小学校 算数】 全国（公立）の平均正答率との差が最も大きい問題

2 図形を構成する要素に着目し図形を考察すること（多角形） 設問（1）

〔出題の趣旨〕

平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

B 図形

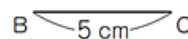
〔評価の観点〕

知識・技能

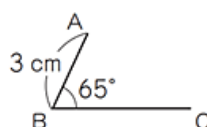
	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	52.4%	55.5%	58.3%	-5.9

【わかなさんのかき方】

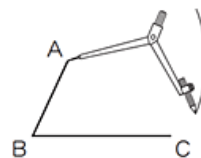
- ① 長さが5 cm になるように辺BCをかきます。



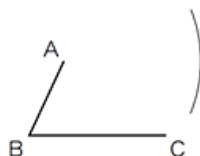
- ② 角Bの大きさが 65° で、長さが3 cm になるように辺ABをかきます。



- ③ コンパスを使って、頂点Dの位置を決めます。
コンパスを5 cm（辺BCの長さ）に開き、
コンパスの針を頂点Aにさして、円の一部をかきます。



【わかなさんのかき方】の③でできた図は、下のようになりました。



このあと、頂点Dの位置を決めるために、コンパスをもう一度使います。
コンパスを何 cm に開きますか。答えを書きましょう。

また、コンパスの針をさす場所を、頂点A、頂点B、頂点Cの中から1つ選んで書きましょう。

（正答）【コンパスを開く長さ】 3（cm）

【針を刺す場所】 （頂点）C

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することに課題があると考えられます。

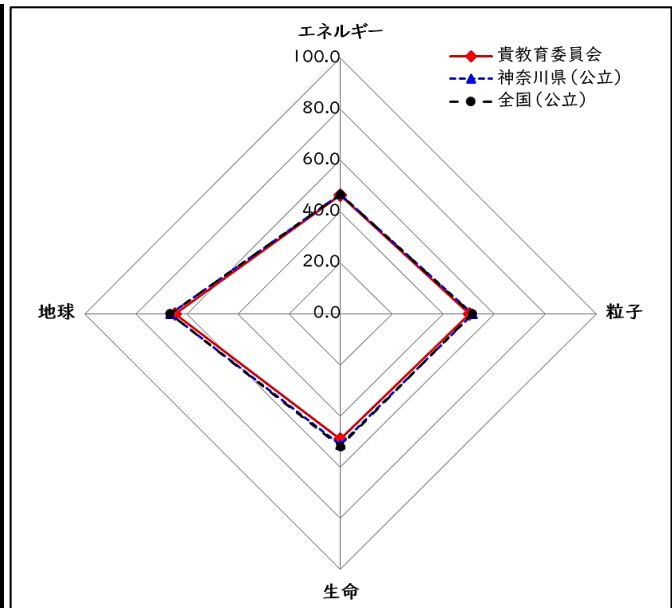
(3) 小学校 理科の主な結果（平均正答率）について

【学習指導要領の領域】

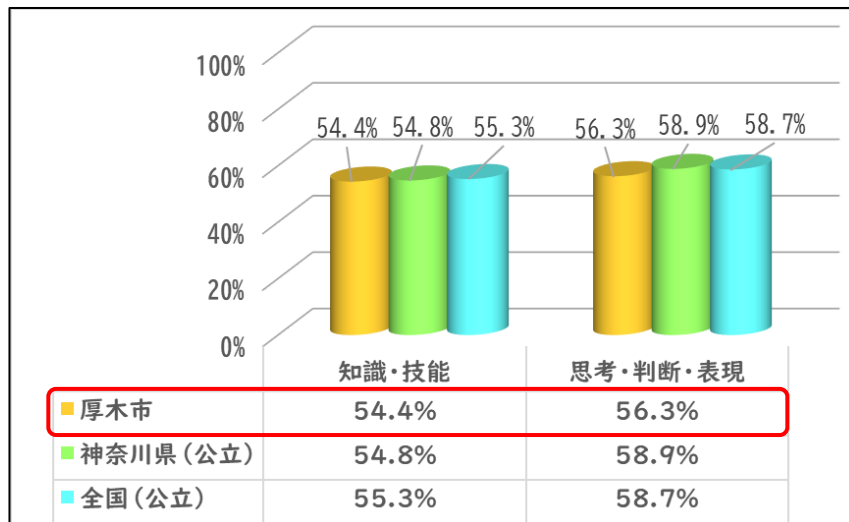
(単位：％)

分類	学習指導要領の区分・領域			
	A 区分		B 区分	
区分	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
厚木市	46.3	50.4	49.1	64.9
神奈川県(公立)	46.6	51.7	51.2	66.6
全国(公立)	46.7	51.4	52.0	66.7

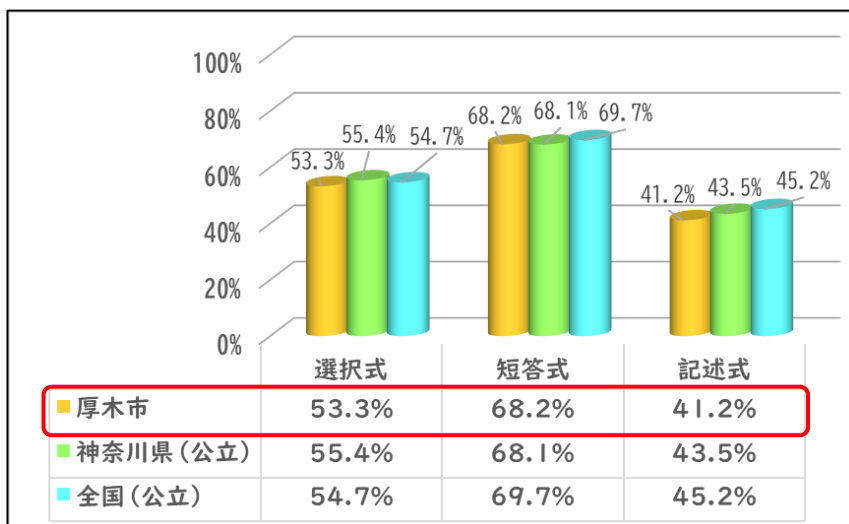
(単位：％)



【評価の観点】



【問題形式】



【問題例】

【小学校 理科】 本市において平均正答率が最も高い問題

2 電気の性質を活用したものづくり(エネルギーに関する問題) 設問(3)

〔出題の趣旨〕

電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

A区分「エネルギー」を柱とする領域

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	79.5%	76.7%	78.0%	+1.5

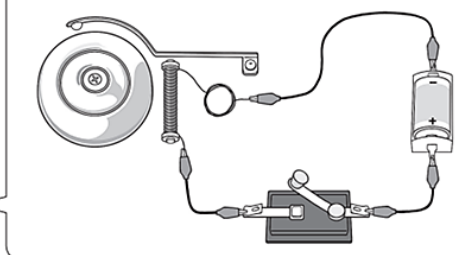
いおりさんとてつやさんは、かね(ベル)について話しています。

かね(ベル)の鳴る音が小さいので、音を大きくしたいね。電磁石の強さを強くして、かねを強くたてればいいね。



電磁石の強さを強くするには、次のようにするといいね。

- ・電磁石のコイルの巻き数を変えたとしたら、巻き数を(ア)。
- ・かん電池を変えたとしたら、かん電池を2個直列つなぎにする。



(3) 上のふきだしの(ア)にあてはまることばを書きましょう。

(正答)(例) 多くする

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることが知識として身に付いています。

【小学校 理科】本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も低い問題

2 電気の性質を活用したものづくり(エネルギーに関する問題) 設問(1)

〔出題の趣旨〕

身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

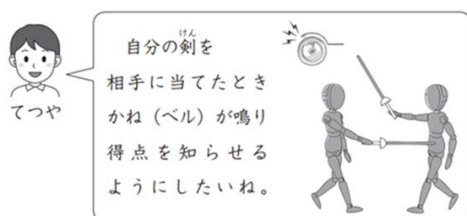
A区分「エネルギー」を柱とする領域 「粒子」を柱とする領域

〔評価の観点〕

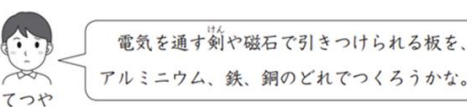
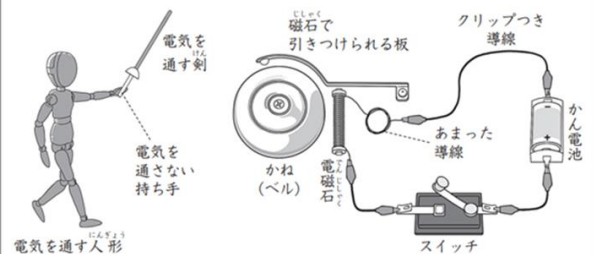
知識・技能

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	9.6%	10.5%	10.6%	-1.0

てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話しています。



これらの物を使ってつくることはできないかな。



(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

(正答)

アルミニウム	2
鉄	1
銅	2

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

電気を通す物と磁石に引き付けられる物に関する知識を身に付けることに課題があると考えられます。

【小学校 理科】 全国（公立）の平均正答率との差が最も大きい問題
本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

- I 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違い（地球に関する問題） 設問（2）
〔出題の趣旨〕
赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる。
〔学習指導要領の領域〕
B区分「地球」を柱とする領域
〔評価の観点〕
思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	55.8%	56.2%	60.5%	-4.7
無解答率	9.8%	9.6%	8.5%	+1.3

あかりさんたちは実験を行い、得られた【結果】を下のように整理しました。

【結果】 あかだまっち 〈赤玉土に水がしみこむ時間〉		
	コップA (大きいつぶ)	コップB (小さいつぶ)
1回目	3秒	11秒
2回目	4秒	10秒
3回目	4秒	11秒

あかりさんは、【問題に対するまとめ】を考えています。



【問題に対するまとめ】は、「水のしみこみ方は、
赤玉土のつぶの大きさによって、ちがいがあ
る」といえるね。

(2) あかりさんが下線部のようにまとめたわけを、上の【結果】を使って書きましょう。

(正答)

(例) 水のしみ込む時間は、コップAは3秒から4秒で、コップBは10秒から11秒だったので、小さいつぶの方が長かったから。

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

水のしみ込み方の違いについて【結果】を基に考察し、【問題に対するまとめ】の理由を適切に表現することに課題があると考えられます。

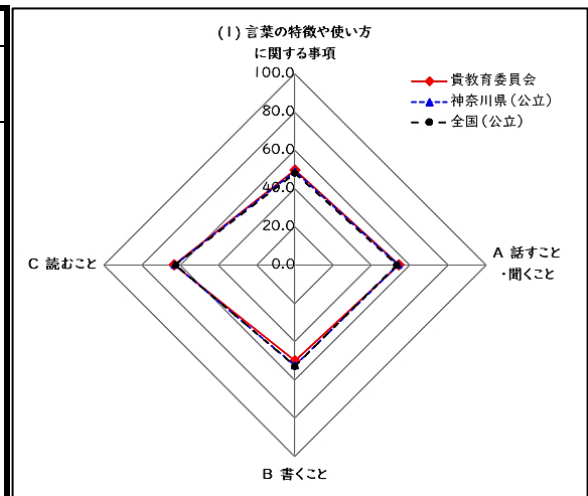
(4) 中学校 国語の主な結果（平均正答率）について

【学習指導要領の内容】

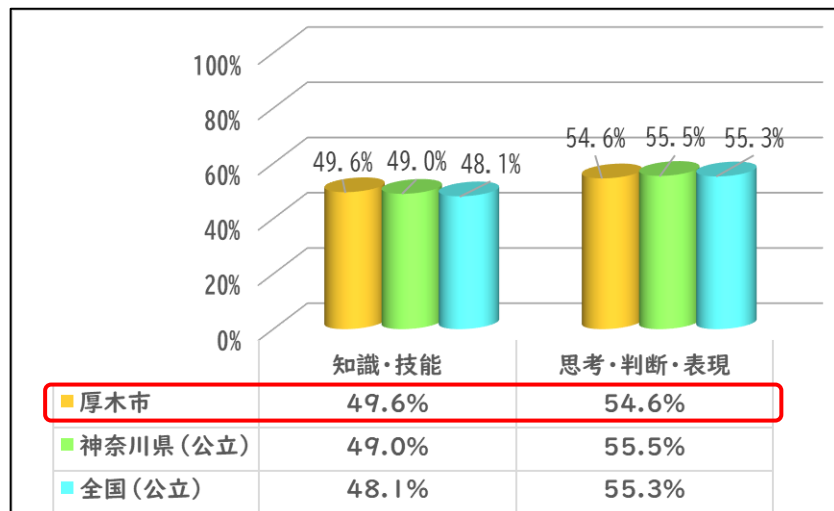
(単位：%)

(単位：%)

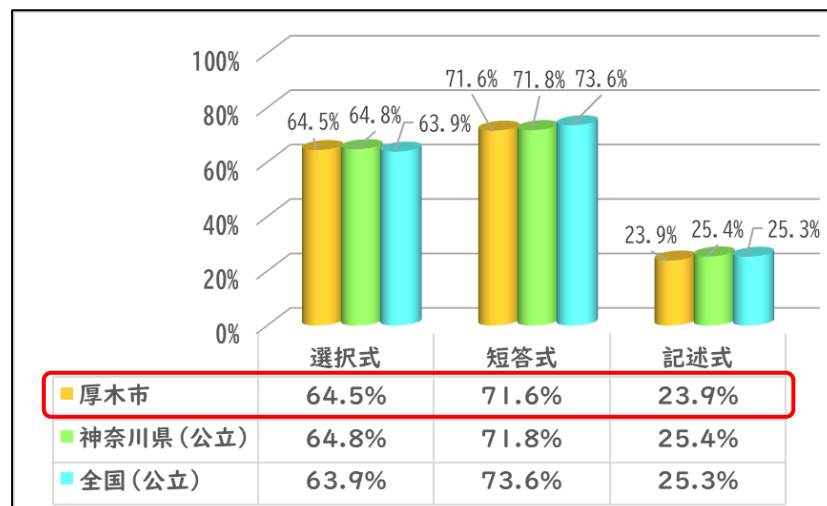
分 類	学習指導要領の内容					
	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		
区 分	(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2)情報の扱い方に 関する事項	(3)我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・ 聞くこと	B 書くこと	C 読むこと
厚木市	49.6	—	—	54.2	50.0	63.0
神奈川県 (公立)	49.0	—	—	53.9	52.3	62.9
全国(公立)	48.1	—	—	53.2	52.8	62.3



【評価の観点】



【問題形式】



【問題例】

【中学校 国語】本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も高い問題

3 文学的な文章を読む(「二人の兄弟」) 設問二

〔出題の趣旨〕

文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる。

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	91.7%	90.3%	89.9%	+1.8

二 線部①「二人の兄弟」は、この物語の中でどのような性格の人物として描かれていますか。「二人の兄弟」を通して分かる性格を、それぞれ書きなさい。

二人の兄弟

島崎藤村

一 榎木の実

皆さんは榎木の実を拾ったことがありますか。あの木の落ちていた木の下へ行ったことがありますか。あの香しい木の実を集めてたり食べたりして遊んだことがありますか。

そろそろあの榎木の実が落ちる時分でした。二人の兄弟はそれを拾うのを楽しみにして、まだあの実が青くて食べられない時分から、早く紅くなれ早く紅くなれと言っていました。

二人の兄弟の家には赤いお爺さんがいました。このお爺さんは山へも木を伐りに行くし、品へも野菜をつくりに行き、何でもよく知っていました。

このお爺さんが兄弟の子供に申しました。

「まだ榎木の実はまだ食べられません。もう少しお待ちなさい」とそう申しました。

弟は気の短い子供で、榎木の実の紅くなるのを待てないでいました。お爺さんが止めるのも聞かずに、馳出して行きました。この子供が本の実を拾いに行きますと、高い枝の上にいた、一羽の、榎鳥が大きな声を出して、

「早過ぎた。早過ぎた」と鳴きました。

気の短い弟は、枝に生っているのを打ち落とすつもりで、石ころや棒を拾っては投げつけました。その度に、榎木の実が葉と一緒に落ちて、バラバラバラ落ちて来ましたが、どれもこれも、まだ青くて食べられないばかりでした。

そのうちに今度は兄の子供が出掛けに行きました。兄は弟と違って気長な子供でしたから「大丈夫、榎木の実はまだ紅くなっている」と安心して、ゆっくり構えて出掛けに行きました。兄の子供が本の実を拾いに行きますと、高い枝の上にいた榎鳥がまた大きな声を出して、

「遅過ぎた。遅過ぎた」と鳴きました。

気長な兄は、しきりと木の下を探し廻りましたが、紅い榎木の実は一つも見つかりませんでした。この子供がゆっくり出掛けて行くうちに、木の下に落ちていたのを皆な他の子供に拾われてしまいました。

二人の兄弟がこの話をお爺さんにしたら、お爺さんがそう申しました。

「二人はあんまり早過ぎたし、一人はあんまり遅過ぎました。丁度いい時を知らなければ、紅い榎木の実は拾われません。私がその丁度いい時を覚えてあげます」と申しました。

ある朝、お爺さんが二人の子供に、「さあ、早く拾いに出なさい、丁度いい時が来ました」と教えました。その朝は風が吹いて、榎木の枝が揺れるような日でした。二人の兄弟が急いで木の下へ行きますと、榎鳥が高い枝の上からそれを見ていて、

「丁度いい。丁度いい」と鳴きました。

榎木の下には、紅い小さな球のような実が、そこにも、ここにも、一ぱい落ちていました。二人の兄弟は木の周囲を廻って、拾っても、拾っても、拾いきれないほど、それを集めて楽しみました。

榎鳥は首を傾げて、このありさまを見ていました。

「なんとこの榎木の下には紅い実が落ちてしまおう。沢山お拾いなさい。序に、私も一つ御褒美を出しますから、それも拾って行って下さい」と言いながら青い皮の入った小さな羽を高い枝の上から落としてよこしました。

二人の兄弟は榎木の実ばかりでなく、榎鳥の美しい羽を拾い、おまけにその大きな榎木の下で、「丁度いい時」までも覚えて帰って来ました。

二 釣の話

ある日、お爺さんは、二人の兄弟に釣の道具を造ってけると言いました。

いかにお爺さんでも釣の道具は、むずかしからう、と二人の子供がそう思っていて見っていました。この兄弟の家の周囲には釣竿一本売の店がありませんでしたから。

お爺さんは何処からか釣針を探して来ました。それから細い竹を切って来まして、それで二本の釣竿を造りました。

「針と竿ができました。今度は糸の番です」とお爺さんは言って、栗の木に住む栗虫から糸を取りました。丁度お蚕さまのように、その栗虫からも白い糸が取れるのです。お爺さんは栗虫から取れた糸を酢に浸けまして、それを長く引き延ばしました。その糸が日に乾いて堅くなる頃には、兄弟の子供の力で引いても切れないほど丈夫で立派なものができました。

「さあ、釣の道具が揃いました」と言って兄弟にくれました。

二人の子供はお爺さんが造った釣竿を手を提げまして、大喜びで小川の方へ出掛けて行きました。小川の岸には胡桃の木が生えている場所がありました。兄弟は鯀のいそうな石の間を見立てまして、胡桃の木のかげに腰を掛けて釣りしました。

半日ばかり、この二人の子供が小川の岸で遊んで家の方へ帰って行きますと、丁度お爺さんも木を一ぱい背負って山の方から帰って来たところでした。

「釣れましたか」とお爺さんが聞きますと、兄弟の子供はがっかりしたように首を振りました。賢いお魚は一匹も二人の釣針に掛りませんでした。

その時、兄弟の子供はお爺さんに釣の話をしました。兄はゆっくり構えて釣っていたものですから釣針にさした餌は皆な鯀に食べられてしまいました。

弟はまたお魚の釣れるのが待遠しくて、ほんとに釣れるまで待っていらませんでした。つい水の中を掻き廻すと、鯀は皆な驚いて石の下へ隠れてしまいました。

お爺さんは子供の釣の話を聞いて、正直な人の好きそうな声で笑いました。そして二人の兄弟にこう申しました。

「一人はあんまり気が長過ぎたし、また、一人はあんまり気が短過ぎました。釣の道具ばかりでお魚は釣れません」

(島崎藤村「二人の兄弟」による)

(注1) 榎木Ⅱアサ科の落葉樹。高い木に育つ。

(注2) 奉公Ⅱよその家に雇われて住み込みで働くこと。

(注3) 榎木Ⅱカラス科の鳥である「カケス」の別称。

(注4) 斑Ⅱまだら。ぶち。

(注5) お蚕さまⅡカイコガ科のガの幼虫の丁寧な言い方。まゆから絹糸を

(注6) 鯀Ⅱカジカ科の魚。

(正答)

兄 (例) 気が長い

弟 (例) 気が短い

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることはできています。

【中学校 国語】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も低い問題

③ 文学的な文章を読む(「二人の兄弟」) 設問四

〔出題の趣旨〕

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	18.4%	18.1%	17.1%	+1.3

本文は、本紙18ページから19ページをご覧ください。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

例

読者の意表を突く効果がある。なぜなら、「一 榎木の実」には、失敗した兄弟が、お爺さんのおかげで成功する場面が書かれているため、「二 釣の話」も同じような展開になると予想して読み進める読者が多いと思うからだ。

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることについては、令和４年度【小学校】調査及び令和５年度【中学校】調査に引き続き課題があると考えられます。
(令和４年度小学校国語 2 二 平均正答率 68.5%、令和５年度中学校国語 4 三 平均正答率 51.8%)

【中学校 国語】 全国（公立）の平均正答率との差が最も大きい問題

本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

4 手紙を推敲する（「職場体験活動のお礼状」） 設問一

〔出題の趣旨〕

読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	51.4%	53.3%	57.3%	-5.9
無解答率	38.9%	36.3%	33.5%	+5.4

4

三上さんは、職場体験活動でお世話になった生花店の店長の犬野さんに、お礼の手紙を書いています。次は、三上さんが推敲している途中の「手紙の下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「手紙の下書きの一部」

先日
ご協力くださり、

さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくれてありがとうございました。犬野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。

この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていなかったのですが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

一 三上さんは、「手紙の下書きの一部」に、一箇所、漢字の誤りがあることに気付きました。

誤って書かれている漢字を線で消し、消した漢字の右横に、正しい漢字を書きなさい。

先日
さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくれてありがとうございました。犬野さんを

はじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。

この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもって

いませんでした。しかし

皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすること

を通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

（正答）門

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることに課題があると考えられます。

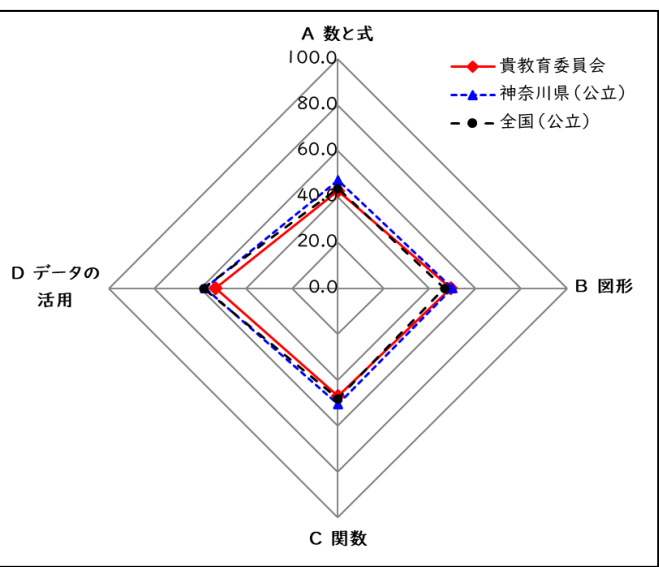
(5) 中学校 数学の主な結果（平均正答率）について

【学習指導要領の領域】

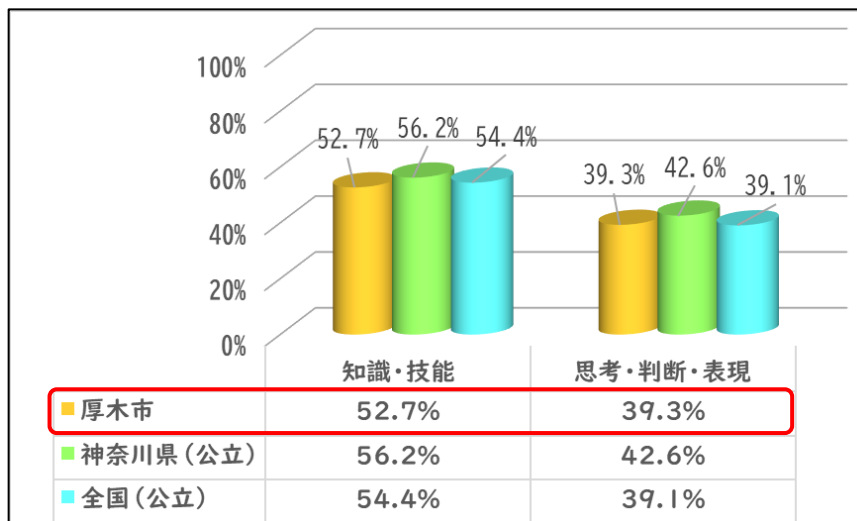
(単位：%)

(単位：%)

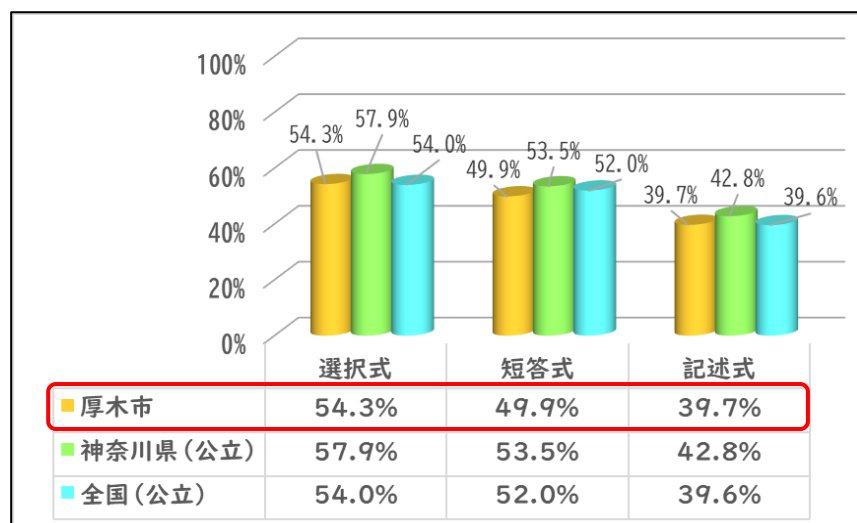
分類	学習指導要領の領域			
区分	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用
厚木市	42.6	49.2	47.0	53.2
神奈川県 (公立)	47.1	50.2	50.5	58.1
全国(公立)	43.5	46.5	48.2	58.6



【評価の観点】



【問題形式】



【問題例】

【中学校 数学】本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も高い問題

7 不確定な事象の起こりやすさを捉え考察し判断すること(じゃんけんカードゲーム) 設問(1)

〔出題の趣旨〕

必ず起こる事象の確率について理解しているかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

D データの活用

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	79.3%	79.0%	77.4%	+1.9

7 優斗さんと芽依さんは、地域のイベントで「じゃんけんカードゲーム」を行うことを計画しました。そこで、表に「グー」、「チョキ」、「パー」の絵がかかれたカードをそれぞれ同じ枚数ずつたくさん準備しました。これらのカードを裏にすると、表の「グー」、「チョキ」、「パー」の絵はわかりません。

二人は、これらのカードを使ったゲームの進め方を、次のように考えました。

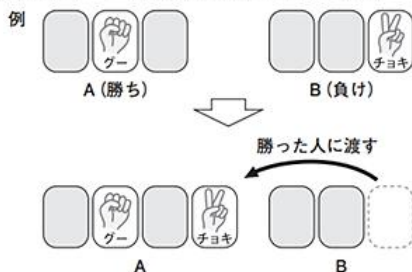


進め方

- ① 準備したすべてのカードを裏にしてよく混ぜ、裏にしたまま、対戦するAとBの手元にそれぞれ3枚ずつ並べる。



- ② AとBは、手元のカードのいずれか1枚を同時に表にする。じゃんけんのルールをもとに勝敗を決め、負けた人は勝った人に表にしたカードを渡す。これを1回目とする。



- ③ 1回目終了後、自分の手元のカードを、すべて裏にしてよく混ぜてから並べ、②と同様に2回目を行う。
④ 2回目終了後、手元のカードの枚数に応じて景品をもらう。

優斗さんと芽依さんは、前ページの進め方でゲームを行うときのAとBのそれぞれの勝ちやすさについて調べることにしました。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。ただし、手元のカードのいずれか1枚を表にすると、どのカードを表にすることも同様に確からしいものとします。

- 1) 優斗さんと芽依さんは、前ページの進め方では、右の図のようにAとBのそれぞれの手元のカードが同じ絵のカードになる場合があることに気づきました。



1回目は必ずAが勝つから、1回目にAが勝つ確率は である。

上の に当てはまる数を書きなさい。

(正答) 1

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

必ず起こる事柄の確率について理解できていると考えられます。

【中学校 数学】本市において平均正答率が最も低い問題
全国（公立）の平均正答率との差が最も大きい問題

- 5 相対度数
〔出題の趣旨〕
相対度数の意味を理解しているかどうかをみる。
〔学習指導要領の領域〕
D データの活用
〔評価の観点〕
知識・技能

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	26.8%	38.3%	42.5%	-15.7

- 5 下の表は、ある学級の生徒 40 人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表です。

ハンドボール投げの記録

階級 (m)	度数 (人)
以上 未満	
5 ～ 10	3
10 ～ 15	8
15 ～ 20	9
20 ～ 25	10
25 ～ 30	6
30 ～ 35	3
35 ～ 40	1
合計	40

20 m 以上 25 m 未満の階級の相対度数を求めなさい。

(正答) 0.25

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

相対度数の意味の理解については、平成 29 年度【中学校】調査に引き続き課題があると考えられます。(平成 29 年度【中学校】数学 A 14 (2) 平均正答率 38.9%)

【中学校 数学】本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

8 日常的な事象における問題について、関数関係に着目し構想を立て解決すること（新しい駅）
設問（2）

〔出題の趣旨〕

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

C 関数

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	37.7%	40.3%	38.0%	-0.3
無解答率	35.1%	32.0%	35.0%	+0.1

8 A 駅の近くに住んでいる歩夢さんは、C 駅と D 駅の間にあるスタジアムによく行きます。

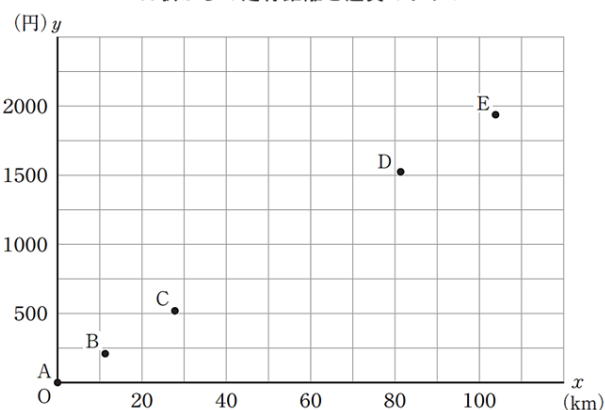
歩夢さんは、スタジアムの近くに新しい駅をつくる計画があることを知り、A 駅から新しい駅までの運賃がいくらになるのか気になりました。そこで、A 駅からの走行距離と運賃をインターネットで調べ、次のような表にまとめました。

調べた結果

	A 駅	B 駅	C 駅	D 駅	E 駅
A 駅からの走行距離 (km)	0.0	11.4	27.7	81.9	104.6
A 駅からの運賃 (円)	0	210	510	1520	1930

歩夢さんは、上の調べた結果を見て、A 駅からの走行距離と運賃にはどのような関係があるかわかりにくいと感じました。そこで、調べた結果をもとに、A 駅からの走行距離を x km、A 駅からの運賃を y 円とし、コンピュータを使って下のようなグラフに表しました。このグラフの点 A から点 E までの各点の x 座標と y 座標は、それぞれ A 駅から E 駅までの各駅の A 駅からの走行距離と運賃を表しています。

A 駅からの走行距離と運賃のグラフ



(2) 歩夢さんがさらに調べると、新しい駅は A 駅から 60.0 km の地点につくられることがわかりました。そこで、A 駅から新しい駅までの運賃がおおよそ何円になるかを予測することにしました。

A 駅から新しい駅までの運賃を予測するために、前ページの A 駅からの走行距離と運賃のグラフにおいて、原点にある点 A から点 E までの点が一直線上にあるとして考えることにしました。

このとき、A 駅から新しい駅までの運賃はおおよそ何円になるかを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に運賃がおおよそ何円になるかを求める必要はありません。

（正答例）

（例）点 A から点 E をもとに、直線のグラフをかき、 x 座標が 60 のときの y 座標を読む。

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題があると考えられます。

（平成 29 年度【中学校】数学 B 3）（2）平均正答率 17.3%

（令和 3 年度【中学校】数学 7）（2）平均正答率 26.3%

（令和 4 年度【中学校】数学 8）（2）平均正答率 36.7%

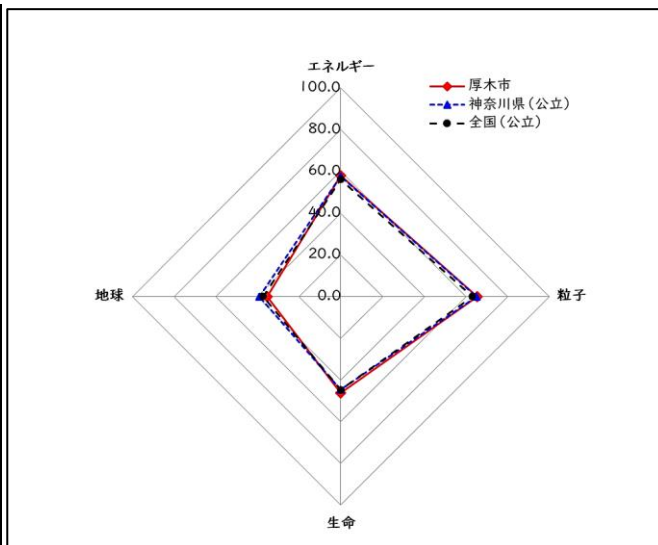
(6) 中学校 理科の主な結果（平均正答率及び IRT スコア）について

【学習指導要領の領域】

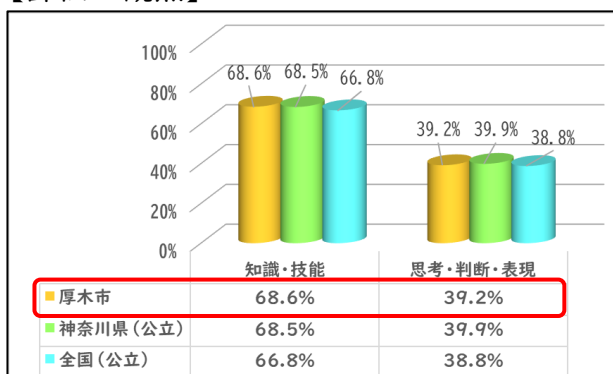
(単位：％)

(単位：％)

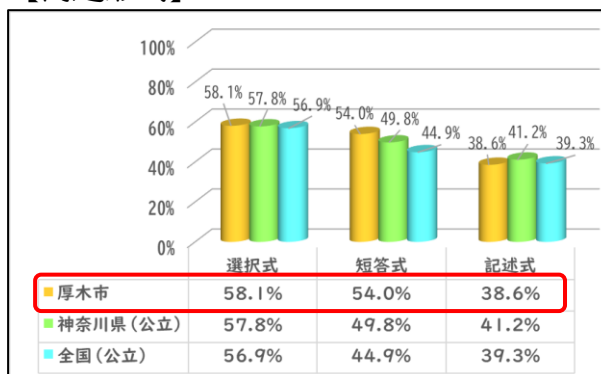
分類	学習指導要領の領域			
区分	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
厚木市	58.1	65.3	46.2	35.5
神奈川県(公立)	57.8	65.0	44.8	39.3
全国(公立)	56.1	63.2	44.8	37.3



【評価の観点】



【問題形式】



【IRT スコア集計値】

	平均IRTスコア	標準偏差	パーセンタイル値				
			10%	25%	50%	75%	90%
厚木市	513	129.4	373	430	499	584	665
神奈川県(公立)	510	124.3	368	429	501	580	659
全国(公立)	503	124.0	361	422	495	572	652

※ 標準偏差:集団のデータの平均値からの離れ具合(散らばり度合い)を表す数値。

※ パーセンタイル:データ全体を小さい順に並べたときに、ある値が下から数えて何%の位置に相当するかを表す数値。小さい順から数えて、総数の1/4番目に当たる値が第一四分位(25 パーセンタイル)、真ん中に当たる値が第二四分位(中央値、50 パーセンタイル)、3/4番目に当たる値が第三四分位(75 パーセンタイル)となります。

【中学校 理科】本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も高い問題

2 ストロー笛をつくり、音について科学的に探究する 設問(2)

〔出題の趣旨〕

ストローの太さと音の高低に関する情報を収集してまとめを行う学習活動の場面で、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身に付いているかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

「エネルギー」を柱とする領域

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	96.6%	95.8%	94.6%	+2.0



【疑問】

ストローの太さを変えたら、音の高低は変わるのでしょうか。



【疑問】を解決するために、右のWebページの情報から、考察しようと思います。



Webページ



このWebページの情報だけを信用して、考察してよいのかな？

(2)

下線部について、適切なものをすべて選びなさい。

- ☐ Webページの情報はすべて信用できるので、この情報だけで考察してもかまわない
- ☐ Webページの情報はすべて信用できるので、考察を行う必要性はない
- ☐ Webページの情報は信用できるものばかりではないので、学校の図書室で図鑑や専門書などを調べ、考察をする
- ☐ Webページの情報は信用できるものばかりではないので、実験を行い、その結果から考察をする

(正答)

- ☐ Web ページの情報は信用できるものばかりではないので、学校の図書室で図鑑や専門書などを調べ、考察をする
- ☐ Web ページの情報は信用できるものばかりではないので、実験を行い、その結果から考察をする

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

収集する資料や情報の信頼性を確認する方法についての知識及び技能を身に付けていると考えられます。

【中学校 理科】 全国（公立）の平均正答率との差が最も大きい問題

I 水をテーマに科学的に探究する 設問(5)

〔出題の趣旨〕

塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

「粒子」を柱とする領域

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	54.0%	49.8%	44.9%	+9.1

水道水について調べる

顕微鏡で観察した結果から、地層からしみ出した水にいろいろな生物がいたので、このままでは安全に飲めないことが分かりました。

地層からしみ出した水などを安全な水道水にするため、ろ過したり、塩素を含む薬品を加えたりしています。

水道水を顕微鏡で観察すると、図のように生物は観察されませんでした。これは、日本の水道水が安全に飲むことのできる理由の1つですね。

地層からしみ出した後
たまった水

水道水

図

(5)

大文字、小文字を区別して、下線部の元素記号を書きなさい。

解答欄

(正答) Cl

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

元素を記号で書き表すことに課題があると考えられます。

(平成 27 年度【中学校】数学 I (I) 平均正答率 74.5%)

(平成 30 年度【中学校】数学 I (I) 平均正答率 83.7%)

【中学校 理科】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も低い問題

8 身近な地域の大地の変化について科学的に探究する 設問(2)

〔出題の趣旨〕

大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

「地球」を柱とする領域

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	15.2%	18.6%	18.1%	-2.9



地層のボーリング調査のモデルから、分かることを考えましょう。
図1は、Aさんの住んでいる地域について、等間隔にボーリング調査をした4つの地点です。現在、この地域は標高差がなく、平らな地域です。かつては地層が西から東に下がるように傾いていた地域でした。



図1 Aさんの住んでいる地域



図2はボーリング地点①、②、④の結果です。
この結果から、**■**の地層は、
『**■**は地表の下に存在する
・同じ厚さである
・ボーリング地点②と④の間に断層が一つある』
と考えました。



Aさんの**下線部**の考えが正しいなら、ボーリング地点③の結果が予想できますね。



ボーリング地点③の結果は、どのようなになっているのかな。

〔ボーリング調査の結果〕

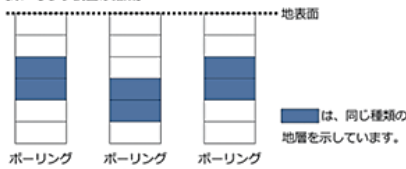
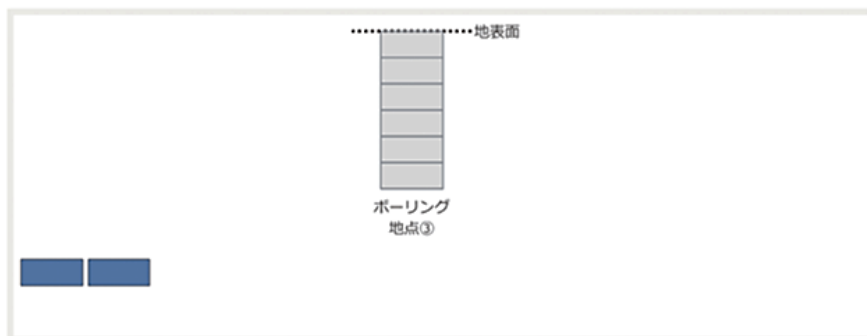


図2 ボーリング調査の結果

(2)

下線部の考えが正しいと言うためには、ボーリング地点③のボーリングの結果がどのようなになればよいか。

■を必要な数だけ適切な位置に移動させ、最も適切なボーリング地点③の結果を示しなさい。



(正答)

(例)



この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

ボーリング調査の結果と関連付けて、地層の広がりを検討して表現することに課題があると考えられます。

【中学校 理科】本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

I 水をテーマに科学的に探究する 設問(6)

〔出題の趣旨〕

科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

「粒子」を柱とする領域

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	81.6%	80.0%	79.4%	+2.2
無解答率	7.9%	9.3%	9.9%	-2.0

探究を振り返る

水道水、精製水について探究したことを発表しています。

水道水について

- ・河川の水などを顕微鏡で観察すると、いろいろな生物がいるので、安全に飲むための工夫をしている。
- ・河川の水などを浄水施設でろ過し、塩素を注入したものを水道水として利用している。

精製水について

- ・理科の実験で使用する精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりしてつくられ、販売されている。
- ・精製水とミネラルウォーターの違いは何かを現在調べている。

探究を通じて、さらに疑問に感じたことに着目して振り返ります。

…水について、…ということが分かり、…についてさらに疑問を感じたので…

Bさん

探究を通じて、はじめの考えから考えが変化したことに着目して振り返ります。

最初は…と思っていましたが、…という考えに変わりました。

Cさん

探究を通じて、身近な生活とのつながりを感じたことに着目して振り返ります。

…ので、身近な生活とのつながりがあることが分かりました。

Dさん

(6)

上の発表を見て、水道水や精製水に対し、Bさん、Cさん、Dさんを参考にして、あなたの振り返りを書きなさい。

振り返り

(正答) (例) 精製水は水道水を蒸留したり、ろ過したりしているということが分かり、ミネラルウォーターはどのようにして作られているのかについてさらに疑問を感じたので、調べてみたいと思いました。

この問題は、国立教育政策研究所のホームページから転載しました。

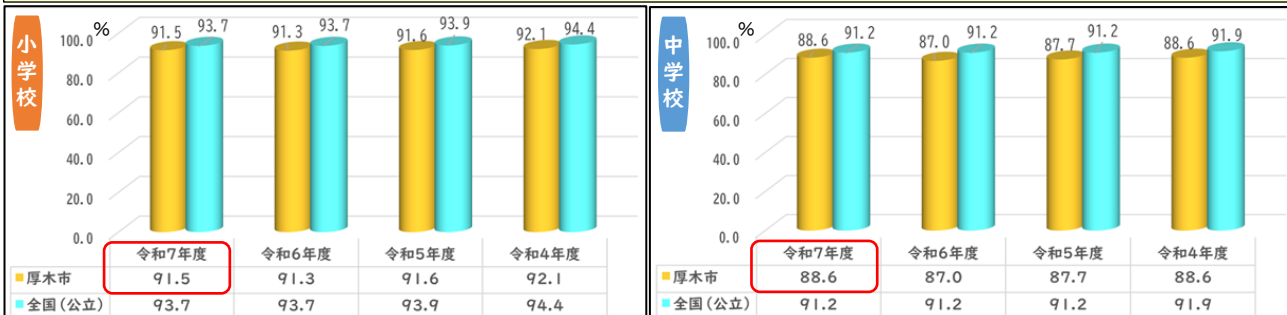
探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現することができていると考えられます。

4 児童・生徒質問調査の結果

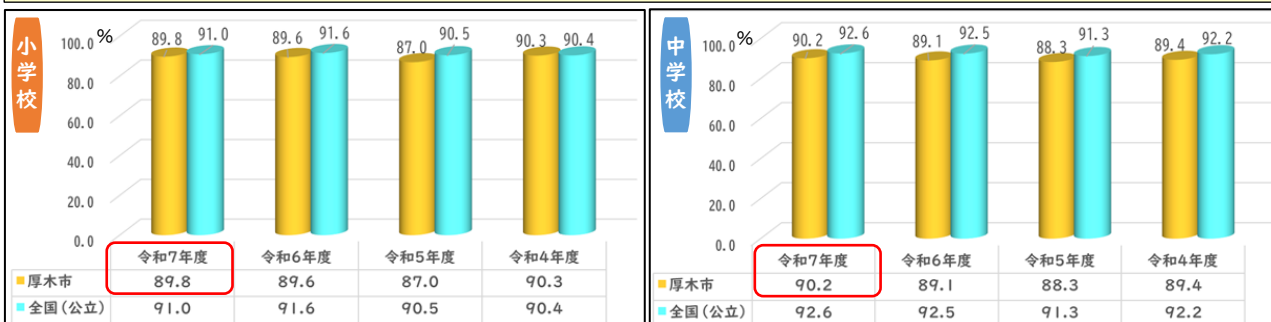
(1) 厚木市立小・中学校の児童・生徒の回答状況（肯定的な回答をした児童・生徒の割合が85%以上）について

ア 基本的な生活習慣等について

質問1 朝食を毎日食べている（している・どちらかといえば、している）

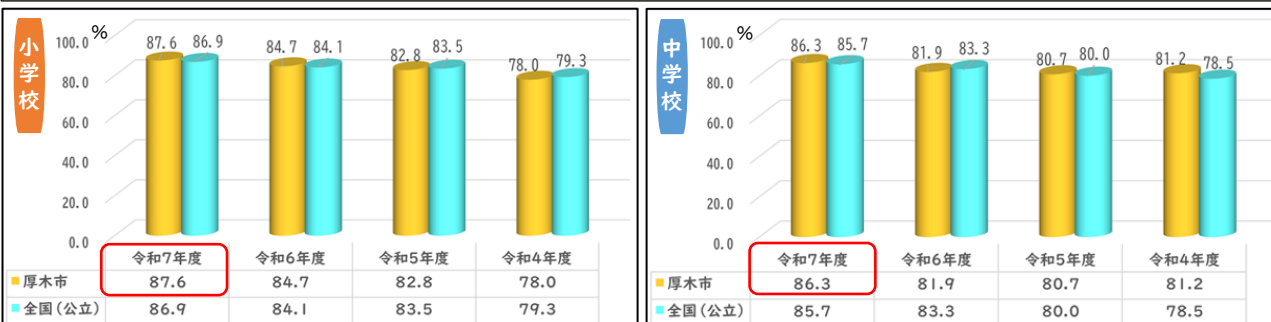


質問3 毎朝、同じくらいの時刻に起きている（している・どちらかといえば、している）

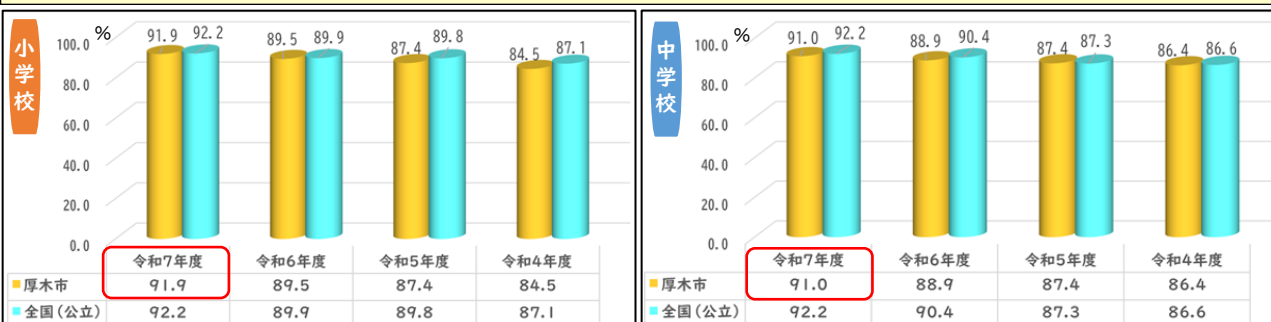


イ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等について

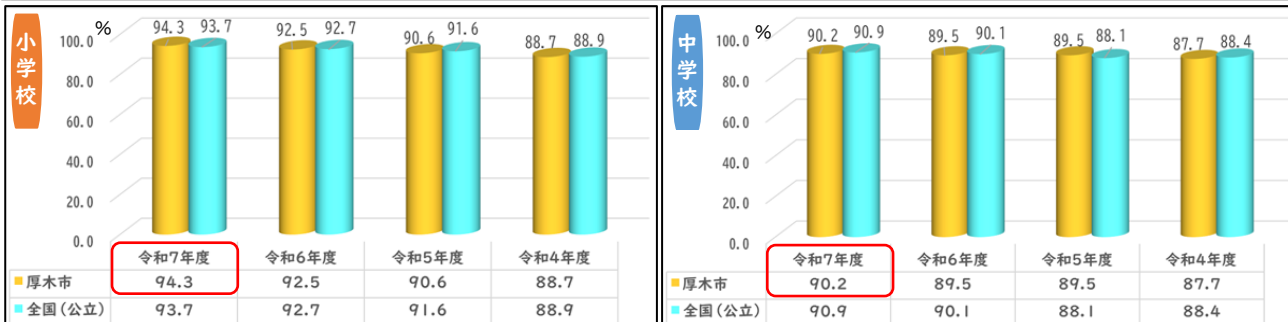
質問5 自分にはよいところがあると思う（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



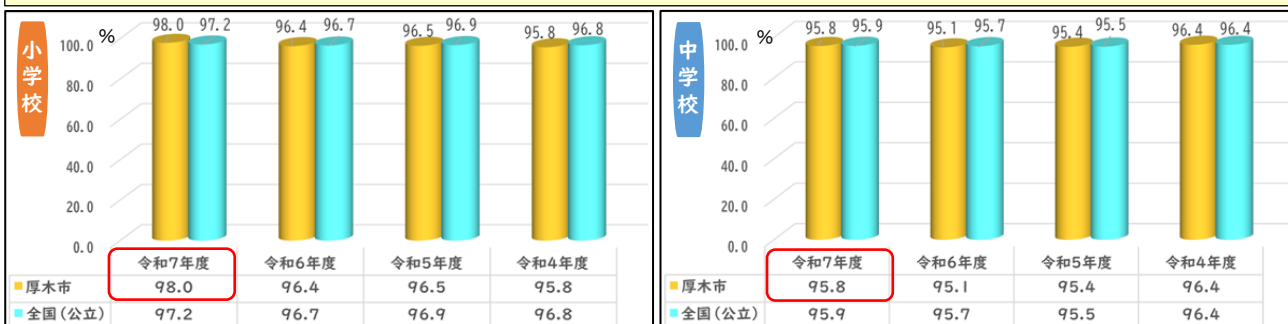
質問6 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



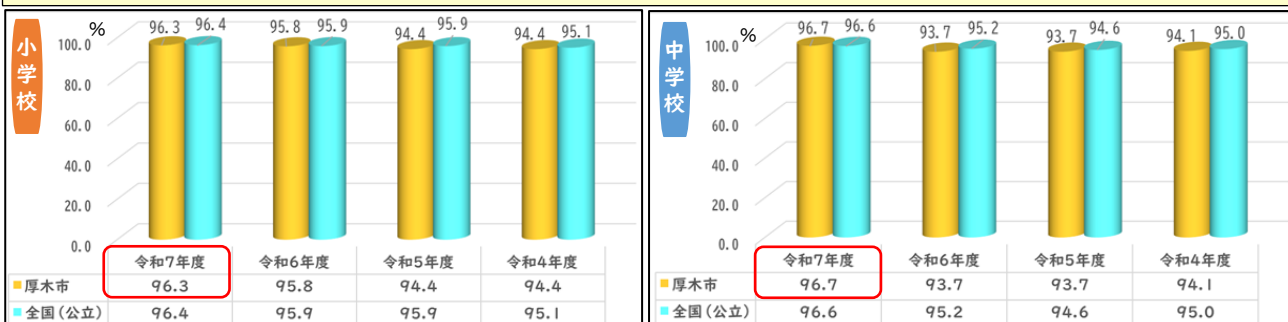
質問 8 人が困っているときは、進んで助けている（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



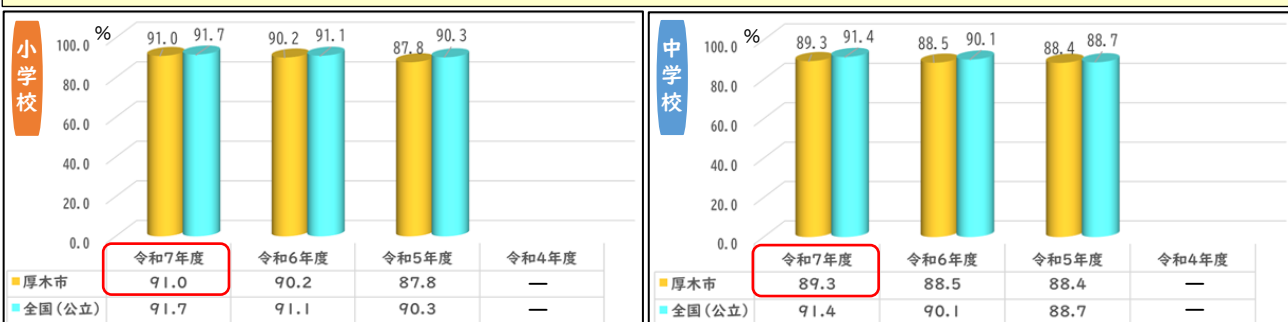
質問 9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



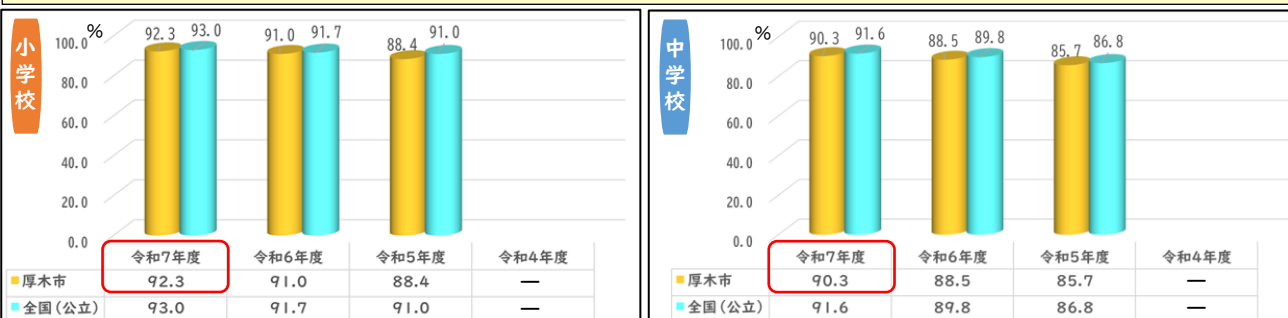
質問 11 人の役に立つ人間になりたいと思う（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



質問 14 友達関係に満足している（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

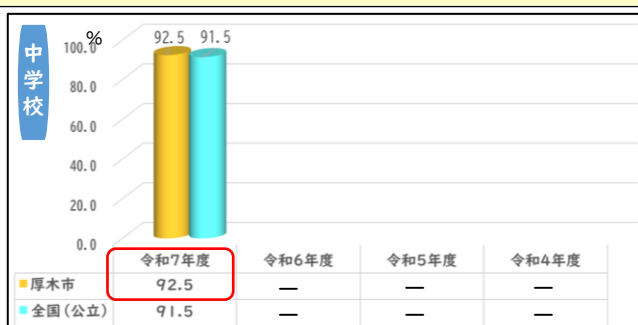


質問 15 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか（よくある・ときどきある）

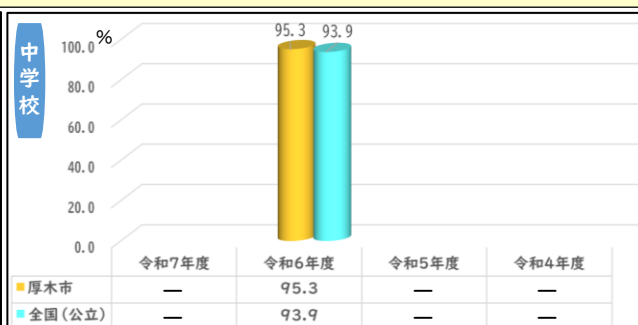
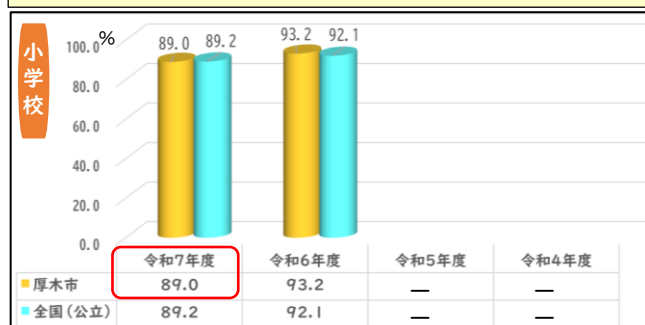


ウ ICT を活用した学習状況について

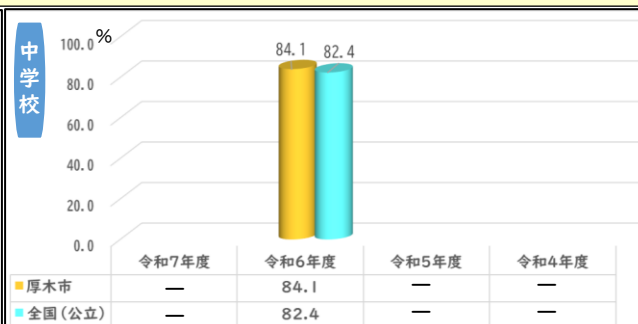
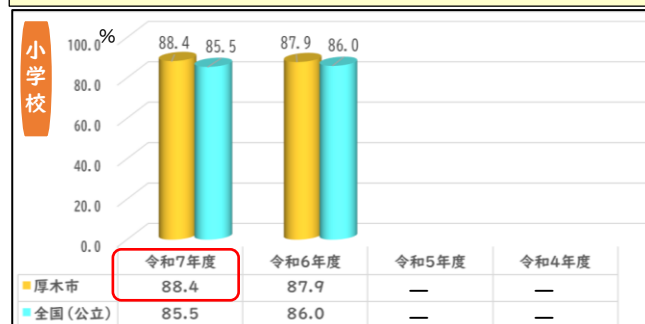
質問 29-2 あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。（とてもそう思う・そう思う）



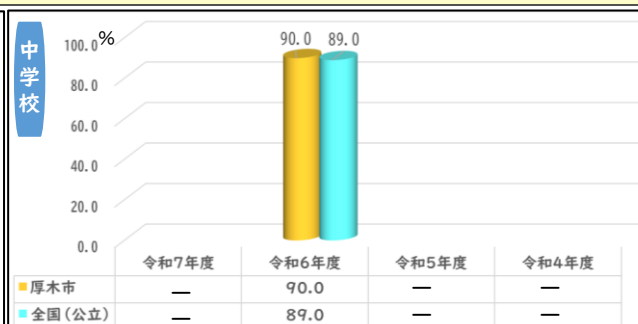
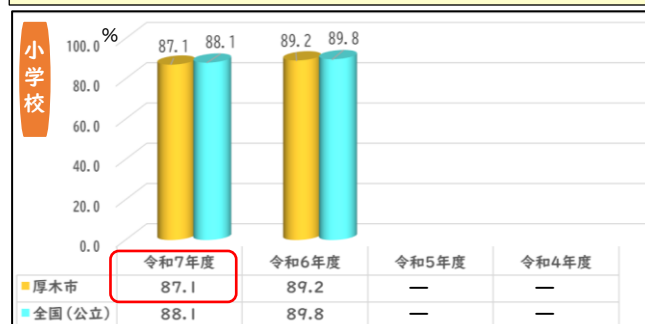
質問 30-2 ICT 機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる（とてもそう思う・そう思う）



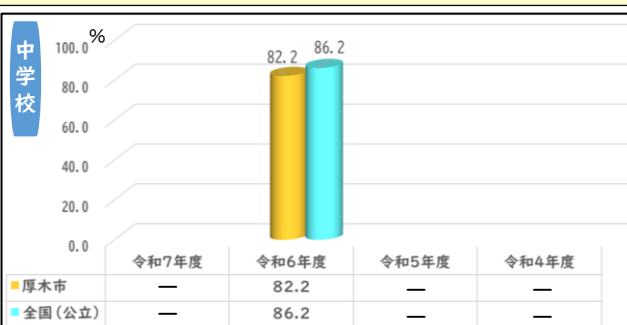
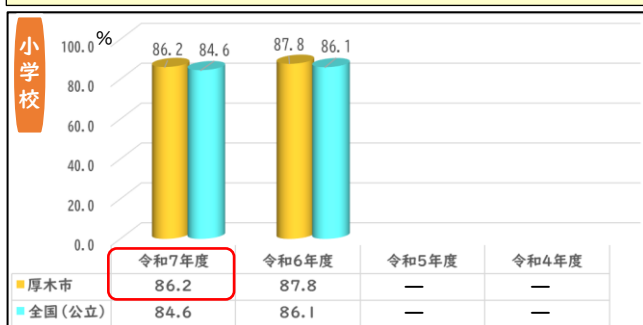
質問 30-3 ICT 機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる（とてもそう思う・そう思う）



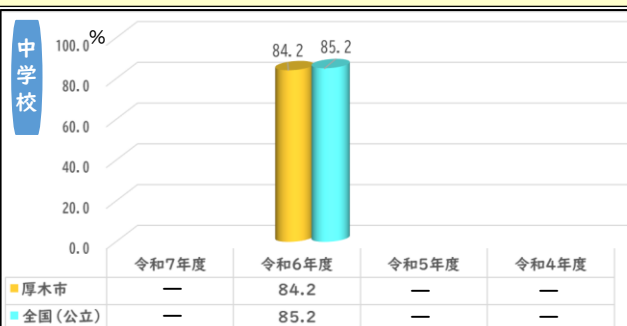
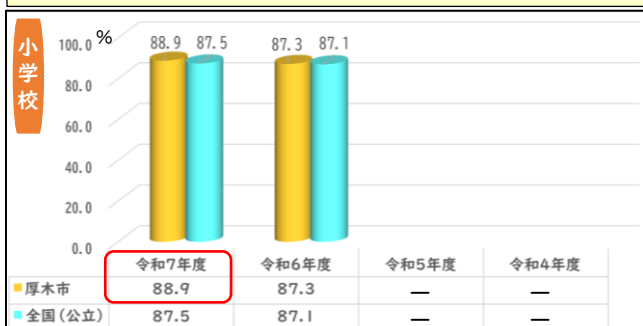
質問 30-4 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる（とてもそう思う・そう思う）



質問 30-6 ICT 機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる
(とてもそう思う・そう思う)

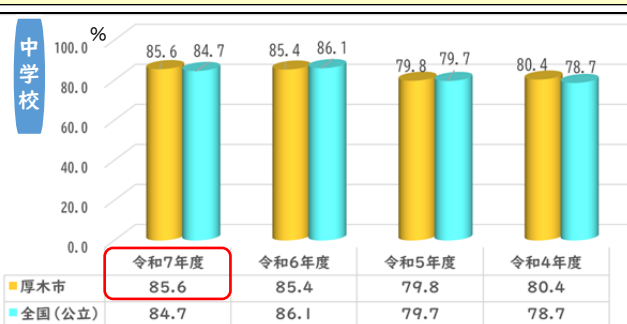
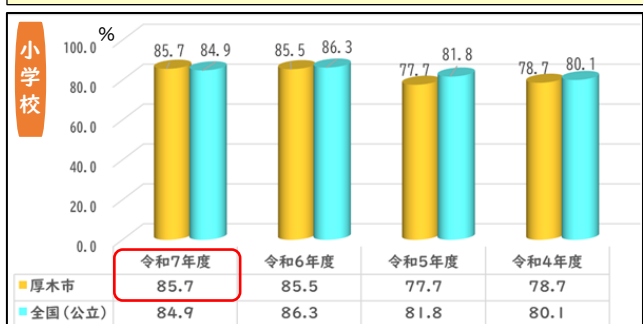


質問 30-7 ICT 機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる
(とてもそう思う・そう思う)

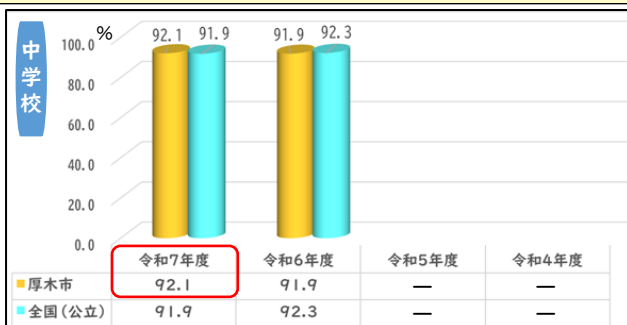
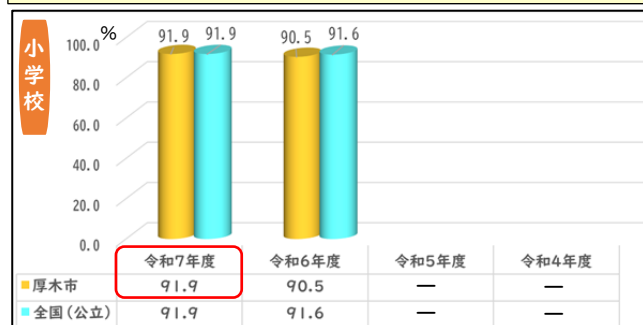


エ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況について

質問 35 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

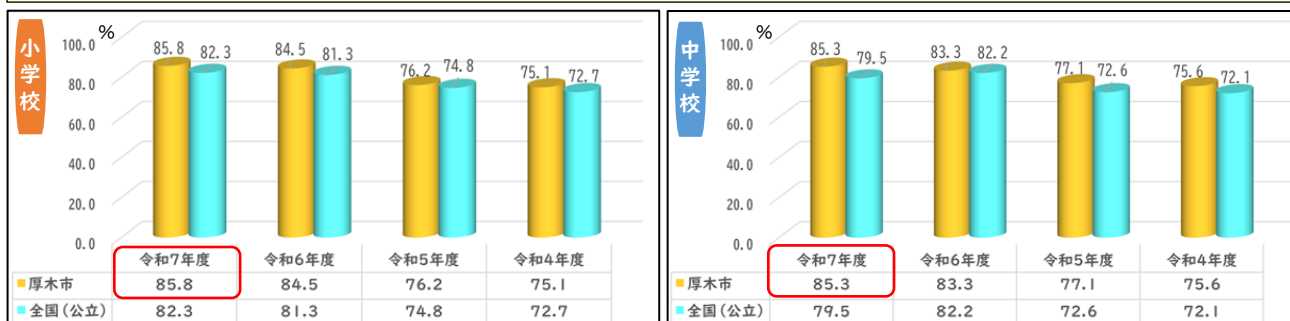


質問 39 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)



オ 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳について

質問 40 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたいことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



質問 43 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

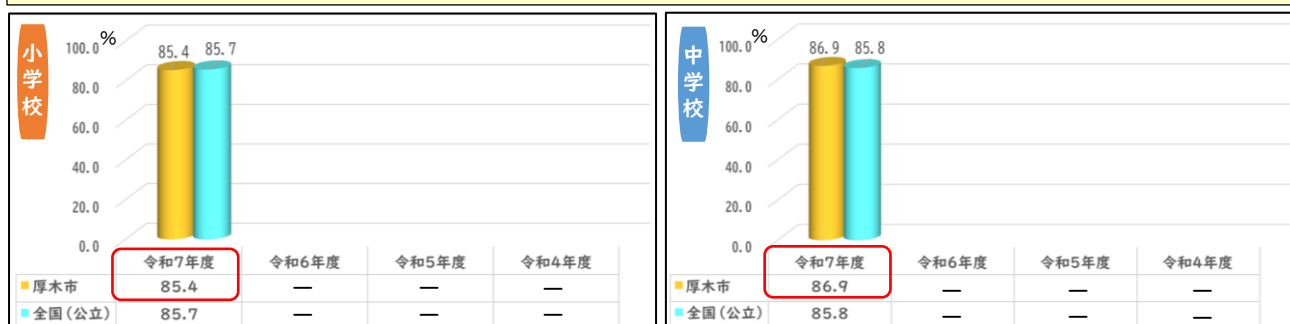


カ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等について

質問 47 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



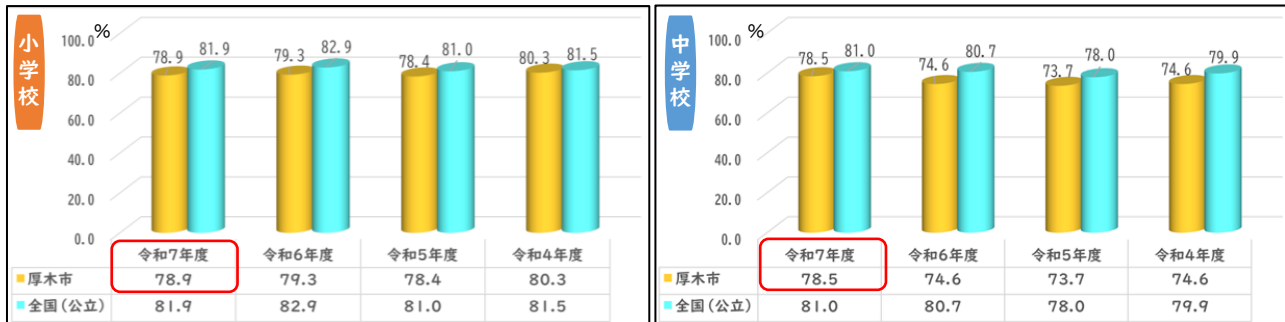
質問 67(68) 理科の授業では、観察や実験をよく行っている（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



(2) その他の主な回答状況について

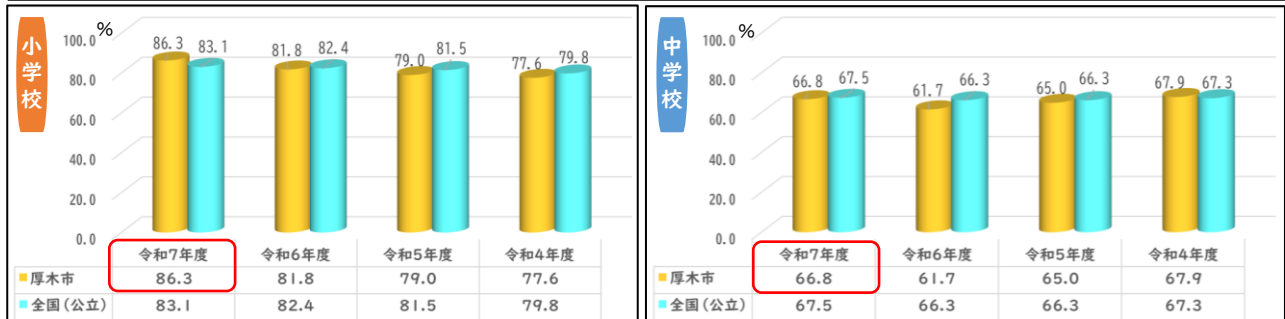
ア 基本的生活習慣等について

質問2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている（している・どちらかといえば、している）

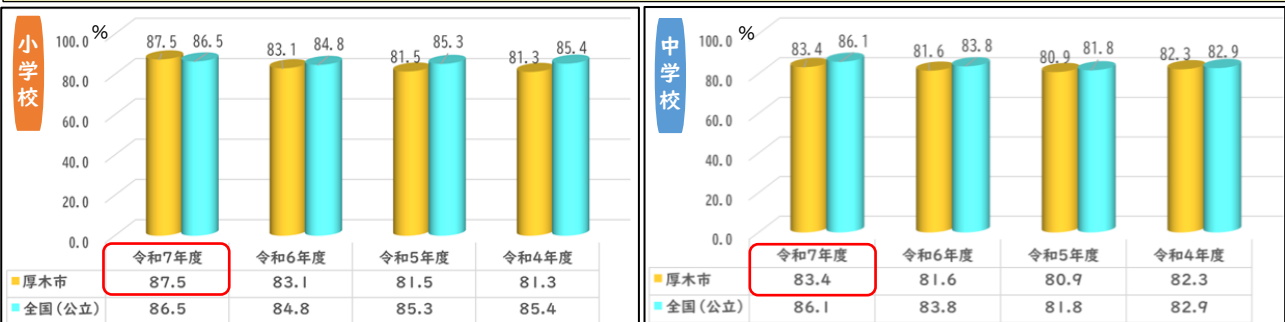


イ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等について

質問7 将来の夢や目標を持っている（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

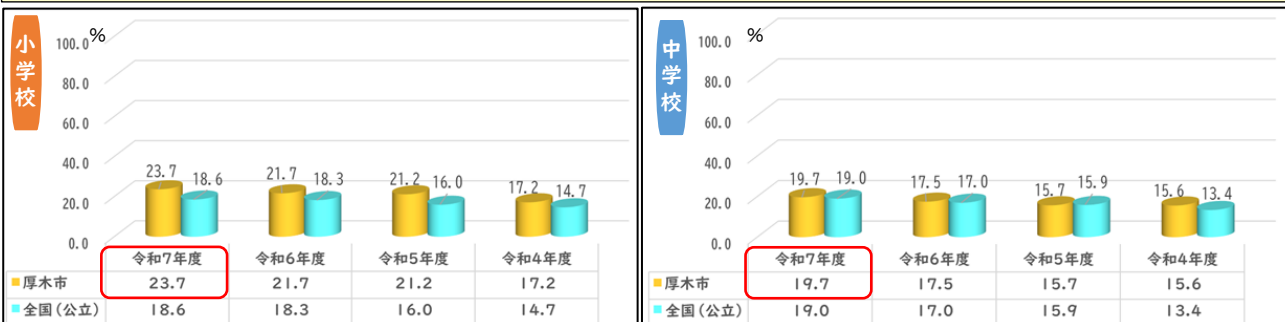


質問16 学校に行くのは楽しいと思う（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

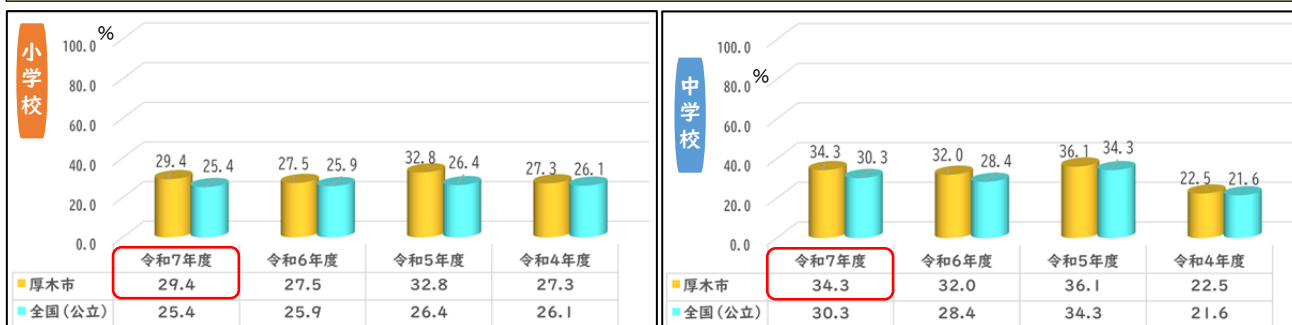


ウ 学習習慣、学習環境等について

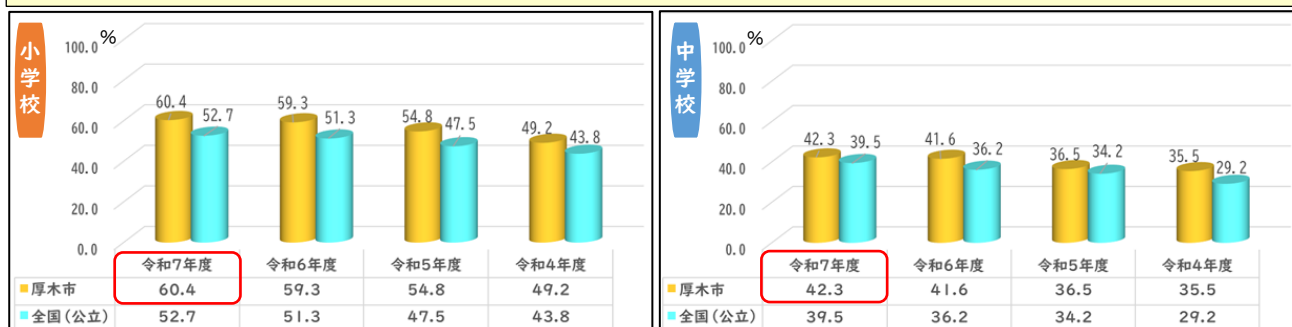
質問17 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）。（30分未満）



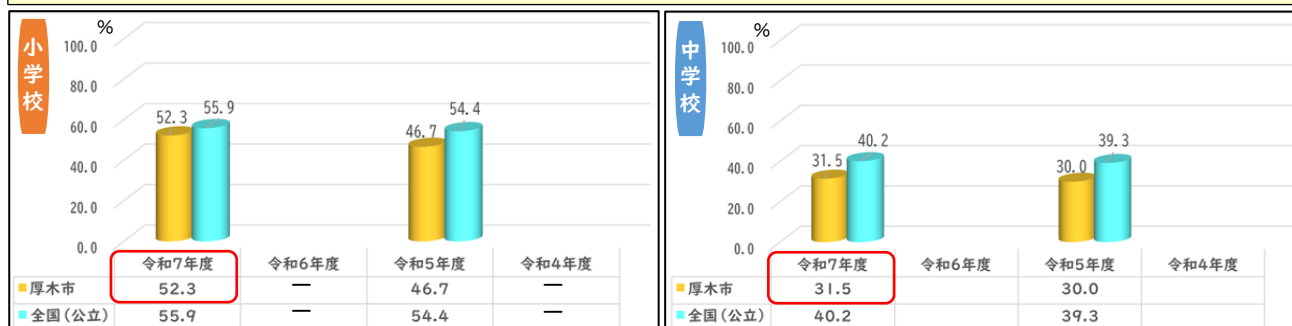
質問 18 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除きます）。（全く使っていない）



質問 19 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）。（1時間未満）

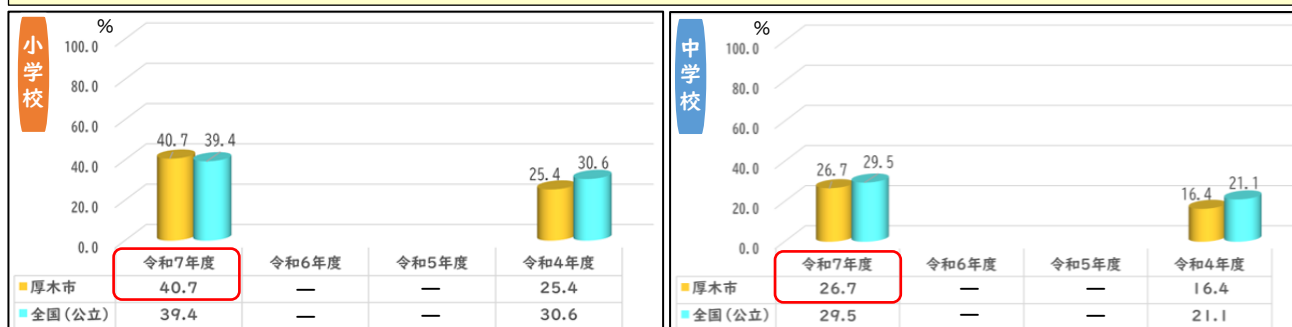


質問 20 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（オンライン授業の場合も含みます）。（教わっていない）

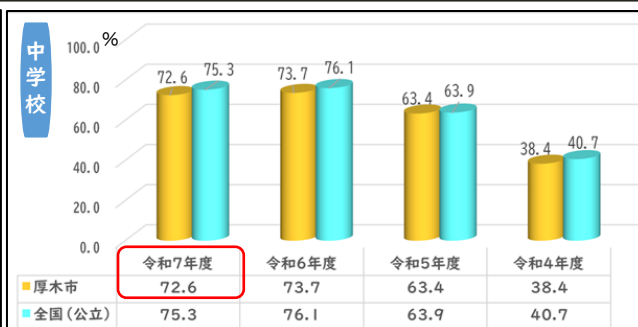
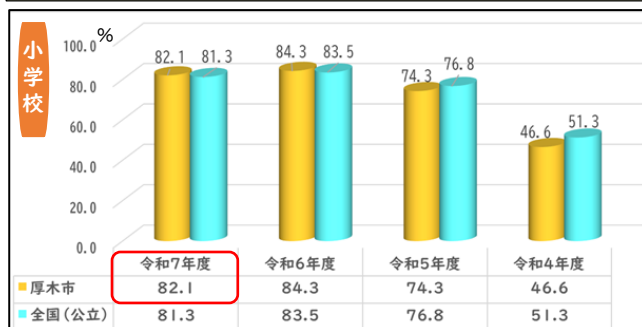


エ 地域や社会に関わる活動の状況等について

質問 26 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事は除く）。（よくある・ときどきある）

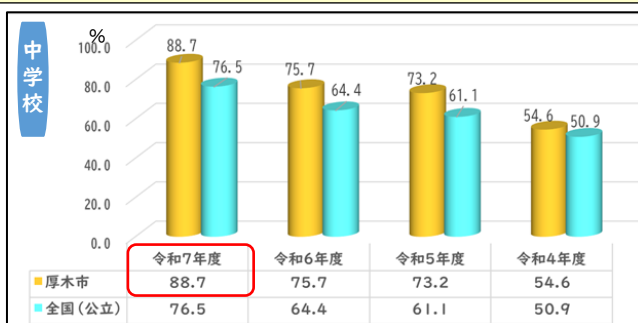
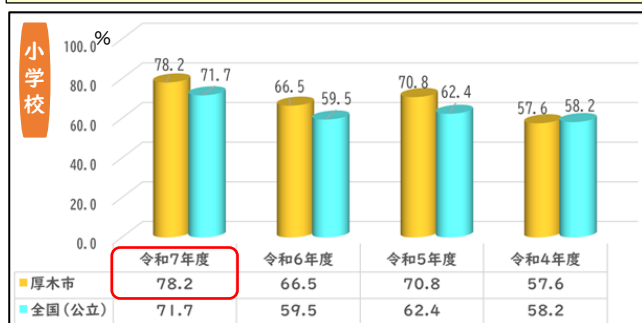


質問 27 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

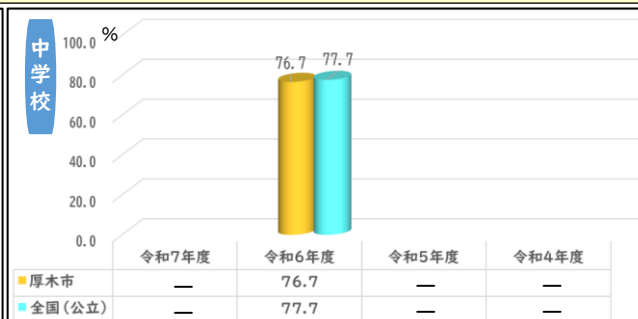
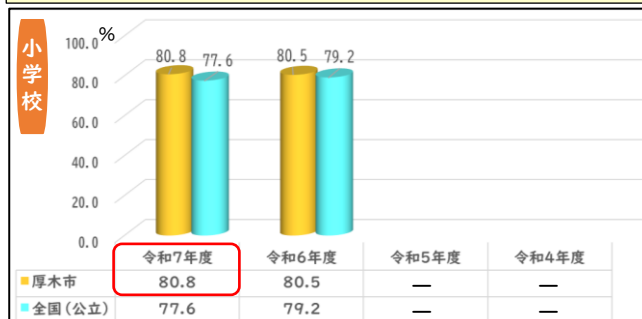


オ ICT を活用した学習状況について

質問 28 5年生までに受けた授業(中学校は、1、2年生までに受けた授業)で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。(週3回以上)

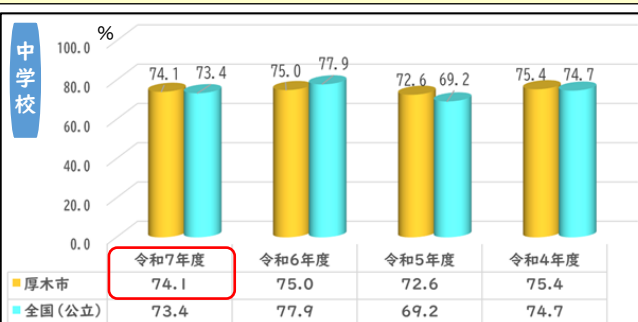
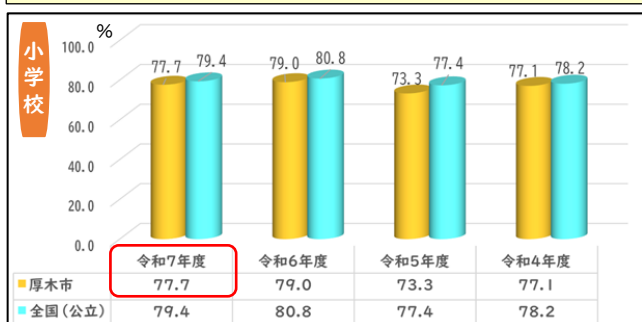


質問 30-5 ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる
(とてもそう思う・そう思う)

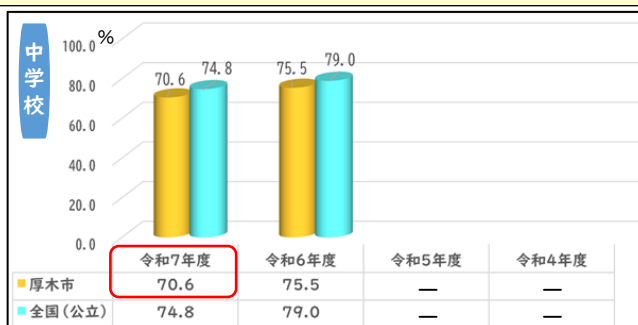
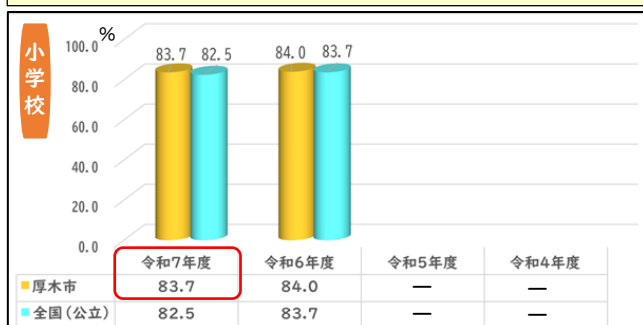


カ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況について

質問 36 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

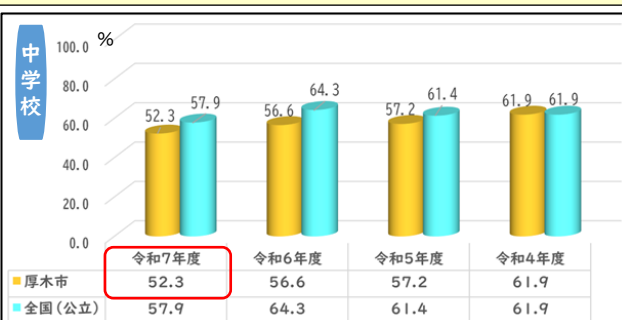
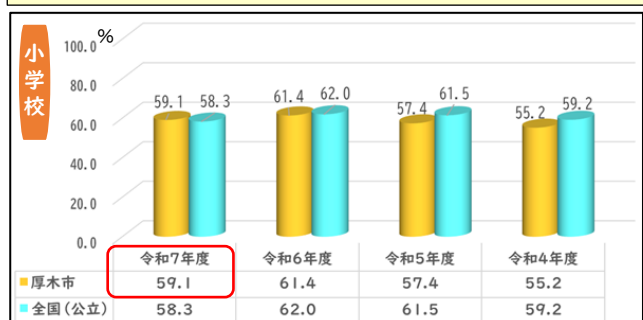


質問 37 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思えますか（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

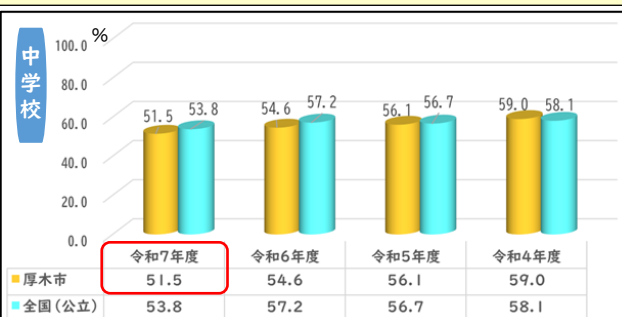
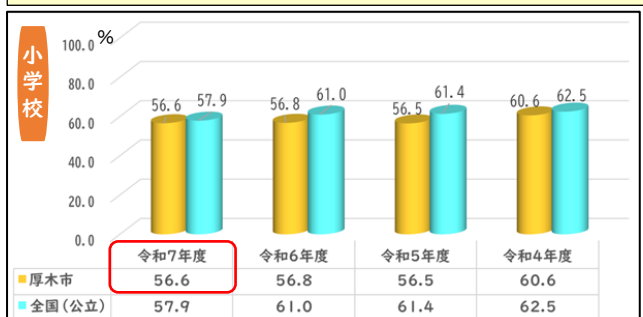


キ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等について

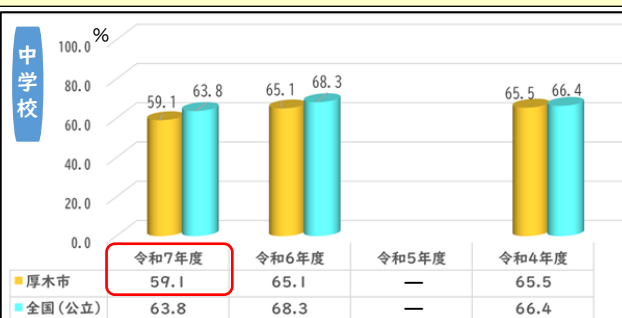
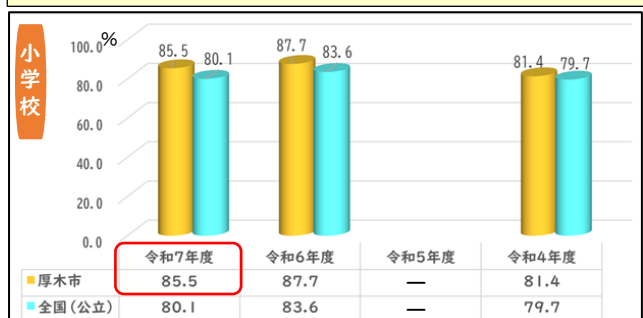
質問 45 国語の勉強は好きですか（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



質問 53 算数・数学の勉強は好きですか（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



質問 61 理科の勉強は好きですか（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）



5 考察

(1) 教科(国語、算数・数学、理科)に関する調査結果について

本市の市立小・中学校の平均正答率、平均 IRT スコア(中学校 理科のみ)等を見ると、全ての教科において、全国公立学校の平均値と大きな差は見られませんでした。

【参照】「文部科学省 国立教育政策研究所「令和7年度全国学力・学習状況調査報告書」」

○…比較的できている点 ●…課題のある点

		成果と課題	充実・改善のヒント
知識及び技能	小学校 国語	● 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに引き続き課題があります。	漢字の読み方や意味を考え、文や文章の中での正しい使い方を身に付ける活動を取り入れることが考えられます。特に今後は、ICT端末を使って文章を書く機会も増えることが予想されます。そのため、同音異義語から文章に合う漢字を選ぶ力を付けていくことも大切であると考えられます。
		○ 図と言葉を合わせて示すことで、自分の考えが伝わりやすくなることを捉えることはできていると考えられます。 ● 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに引き続き課題があります。	複数の資料を結び付けて読む学習活動を設定し、それぞれの資料がどのような関係にあるのかを考えながら読むことが重要であると考えられます。その際、各資料にある語句や情報を丸や四角で囲んだり、線などでつないだりするなどして、どの部分と結び付くのか視覚的に明らかにしながら読む指導を行うことが考えられます。

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

○…比較的できている点 ●…課題のある点

		成果と課題	充実・改善のヒント
知識及び技能	小学校 算数	● 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することに課題があると考えられます。	作図の学習の際、図形を作図することができるようになるだけでなく、その手順や方法と図形の性質を関連付けて、図形の性質の理解を深めることができるようにすることが重要であると考えられます。また、コンパスは単に円をかくだけでなく、等しい長さを測り取ったり移したりすることができる道具であることを理解できるようにすることも大切であると言えます。
		○ 伴って変わる二つの数量に着目し、必用な数量を見いだすことはできていると考えられます。 ● 分数の加法について、共通する単位分数※を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つかを記述することに課題があると考えられます。 ※ 単位分数：もとにする大きさの分数	分数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、共通する単位分数を見いだすことで、既習の整数の加法を使って計算することができるようにすることが大切であると考えられます。例えば、加数と被加数の単位分数に着目して、既習の整数の加法を使って計算できるのかを考察する活動が考えられます。

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

○…比較的できている点 ●…課題のある点

知識及び技能	成果と課題	充実・改善のヒント
	○ 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることが知識として身に付いていると考えられます。 ● 電気を通す物と磁石に引き付けられる物に関する知識を身に付けることに課題があると考えられます。	「磁石の性質」と「電気の通り道」では、鉄、アルミニウム、ガラス、木など、同じ対象物を用いて学習することが多くあります。そこで、習得した知識を活用しながら実験に取り組んだり、得られた結果を振り返りながら、物質の性質に着目して、整理したりする学習活動を通して、物質の性質に関する理解を深めることが大切であると言えます。
思考力、判断力、表現力等	小学校 理科	
	● 水のしみ込み方の違いについて【結果】を基に考察し、【問題に対するまとめ】の理由を適切に表現することに課題があると考えられます。	児童によっては、自分の予想に沿って都合よく結果を解釈したり、結果を基にしながらかえを表現できなかったりすることもあります。そのため、全体の結果を基に、より妥当な考えが作りだせるよう、1人1台端末を活用し、結果を即時的に共有したり、表からグラフに整理したりして、結果を踏まえながら指導することが考えられます。

中学校 国語

○…比較的できている点 ●…課題のある点

思考力、判断力、表現力等	成果と課題	充実・改善のヒント
	○ 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることはできていると考えられます。 ● 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることについては引き続き課題があると考えられます。 ● 読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることに課題があると考えられます。	・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることについては、作品の場面を捉えてその構成を理解するだけでなく、登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉え、その展開を把握することが求められます。文章全体や部分における構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなど、自分なりの意味付けをすることが重要であると考えられます。 ・書いた文章を推敲する際には、伝えようとしてくことが伝わるように、読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることができるように指導することが大切であると考えられます。

○…比較的できている点 ●…課題のある点

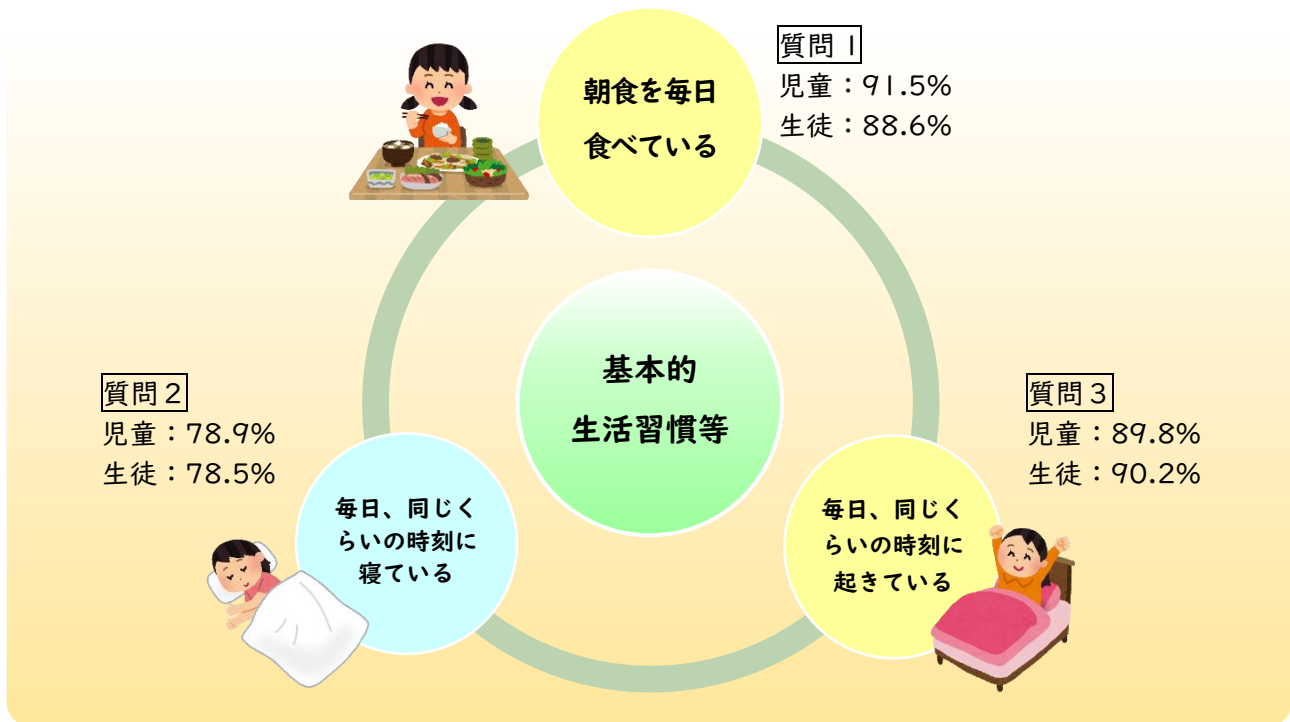
知識及び技能	成果と課題	充実・改善のヒント
	○ 必ず起こる事柄の確率について理解できていると考えられます。 ● 相対度数の意味の理解については、引き続き課題があると考えられます。	ある階級の度数の総度数に対する割合を求めて、データの特徴を読み取る活動を通して、相対度数の必要性和意味を理解し、用語を適切に用いることができるように指導することが大切であると考えられます。
思考力、判断力、表現力等		
中学校 数学		
● 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題があると考えられます。		
問題解決の見通しを立てる場面において自分の考えた解決の方法（例えば、表、式、グラフをどのように用いればよいか）を表現したり、問題解決を振り返る場面においてどのような方法で解決したのかをまとめたりすることが大切です。その際、表現が不十分な説明を取り上げるなどして、より洗練された表現に高めていく活動を取り入れることが考えられます。		

○…比較的できている点 ●…課題のある点

知識及び技能	成果と課題	充実・改善のヒント
	○ 収集する資料や情報の信頼性を確認する方法についての知識及び技能を身に付けていると考えられます。 ● 元素を記号で書き表すことに課題があると考えられます。	指導に当たっては、例えばスポーツ飲料や洗剤、入浴剤等の成分表示の中に元素記号が記載されていることがあることに気付かせるなど、身の回りの生活の中で元素記号が使われていることを実感させる学習場面を設定することが考えられます。その際、物質やその変化を記述したり理解したりするために元素記号を用いることは有効であることに気付くよう促すことも大切であると言えます。
思考力、判断力、表現力等		
中学校 理科		
○ 探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現することができていると考えられます。 ● ボーリング調査の結果と関連付けて、地層の広がりを検討して表現することに課題があると考えられます。		
ボーリング調査の結果が、地盤の安全性の評価やハザードマップの作成に活用されていることに触れ、大地の変化に関する学習と日々の安全な生活とのつながりに気付くようにすることが大切であると言えます。指導に当たっては、離れた地点の幾つかの地層を比較したり、地層モデルを活用したりするなどの体験活動を通して、地層の広がり方や傾きを空間的な視点で捉える場面を設定することが考えられます。		

(2) 児童・生徒質問調査の結果について

ア 基本的生活習慣等について

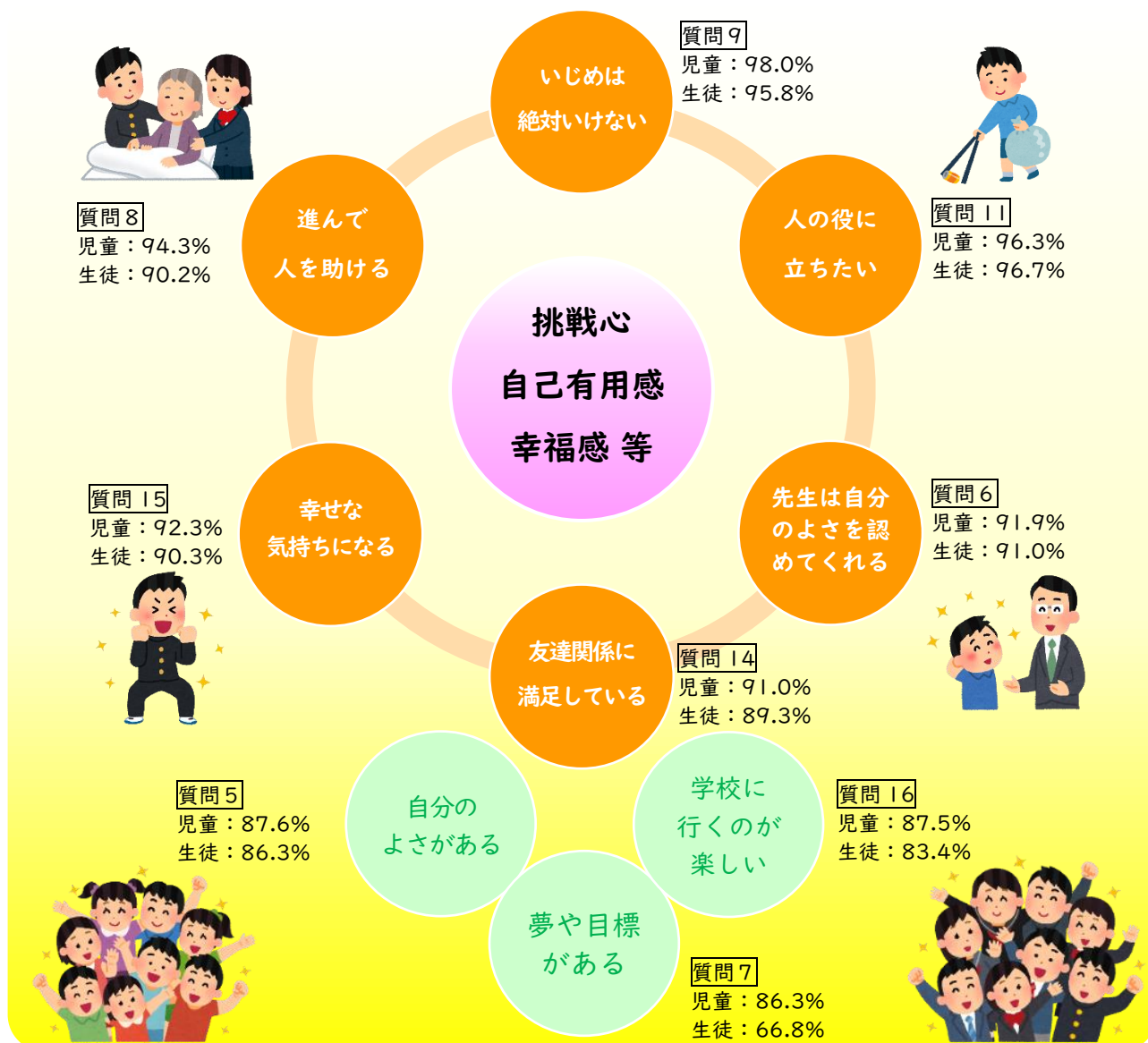


本市の児童・生徒の強み 児童・生徒質問調査の質問1及び質問3について、約9割の児童・生徒が肯定的な回答をしています。このことから、本市では、多くの児童・生徒が、家庭の支えを得ながら、毎日、ほぼ決まった時刻に起き、朝食を食べるという規則正しい生活を送ることができていると考えられます。これは、本市の児童・生徒の強みであると言えます。

一方で、質問2について肯定的な回答をした児童・生徒の割合は、昨年度に引き続き全国（公立）の回答率よりも低い値となっています。

児童・生徒が生涯にわたり健康で活力ある生活を送ることができる力を身に付けるためには、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることや、自らの健康状態を把握し、望ましい基本的な生活習慣を定着させることが大切であると考えられます。そして、この実現には、家庭の支えが重要になると考えられます。

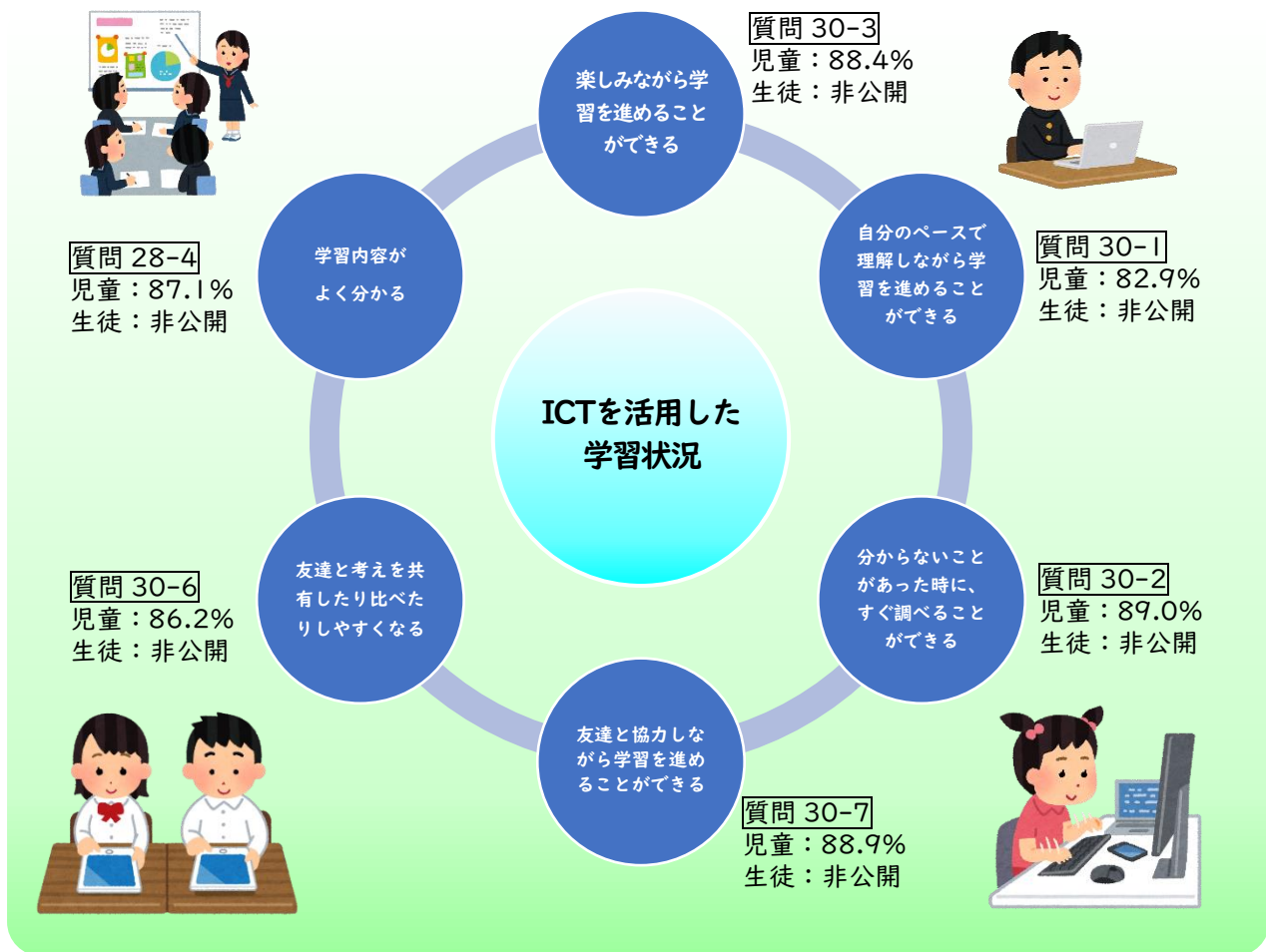
イ 挑戦心、自己有用感、幸福感等について



本市の児童・生徒の強み 上記の挑戦心や自己有用感、幸福感等に関連する児童・生徒質問調査すべてについて、肯定的な回答をした児童・生徒の割合が、昨年度に比べて増えています。このことから、本市では、挑戦心や自己有用感、幸福感等が育まれるような学級・学校環境の中で学校生活を送る児童・生徒が多いと考えられます。また、自他を大切にし、互いに認め合い、支え合う人間関係づくりが進んでいると考えられます。これは、本市の児童・生徒の強みであると言えます。

今後も、人間尊重の精神を基盤として、全ての教育活動を通して、児童・生徒の発達の段階に応じた人権教育の充実を図り、あらゆる立場の人がお互いにかげがえのない人として尊重し合い、多様性を認め合える児童・生徒の育成が求められると言えます。

ウ ICTを活用した学習状況について



【ICT 機器の積極的な活用】

本市の児童・生徒の強み ICT 機器の活用回数(週3回以上に回答)についての児童・生徒質問調査(質問 28)では、小学校(5年生までに受けた授業)及び中学校(1、2年生までに受けた授業)ともに全国平均を上回っており、日々の授業の中で児童・生徒が ICT 機器を頻繁に活用している様子がうかがえます。小学校では、昨年度調査に比べて 11.7 ポイント増加、中学校では 13.0 ポイント増加しています。これは、本市の強みであると言えます。

【ICT を活用する自信】

(単位: %)

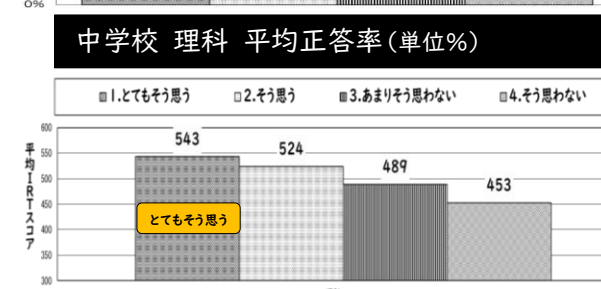
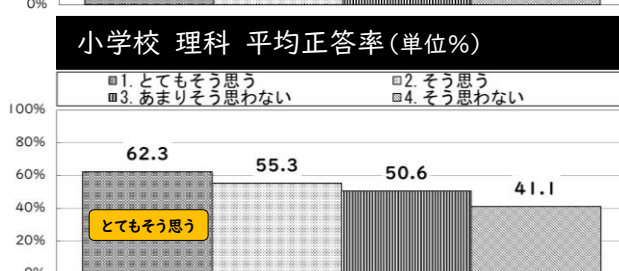
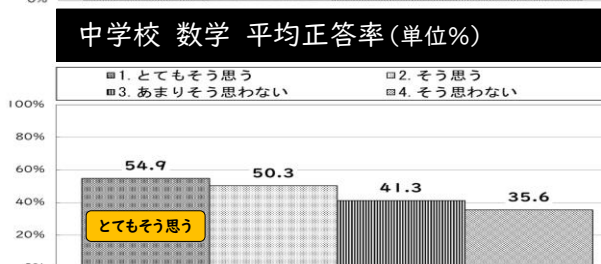
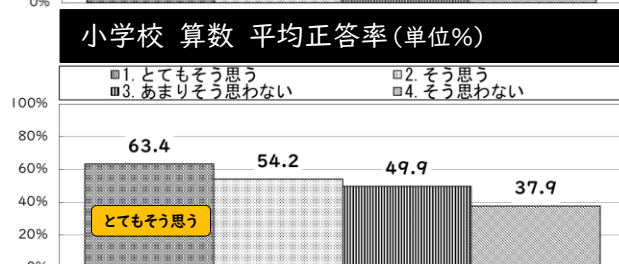
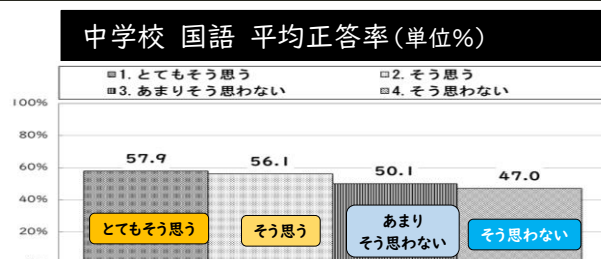
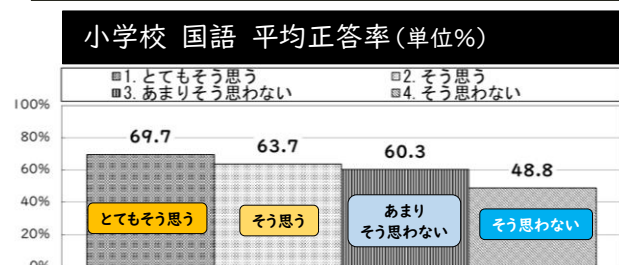
児童・生徒質問調査 質問	厚木市立 小学校	全国(公立) 小学校	厚木市立 中学校	全国(公立) 中学校
(29-1) あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか。	83.2	81.8	86.7	83.6
(29-2) あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか。	91.2	89.8	92.5	91.5
(29-3) あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか。	71.5	69.3	64.2	63.3
(29-4) あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか。	81.6	76.7	81.6	76.6

本市の児童・生徒の強み 前記の児童・生徒質問調査の結果（肯定的な回答をした児童・生徒の割合、単位は％）から、8割以上の児童・生徒が、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、文章を作成したり、情報を収集したり、学校においてプレゼンテーション（発表のスライド）を作成したりすることに自信があると回答していることがわかります。このことから、児童・生徒が、いつでも、どこでも、必用な時に使える“道具”としてICT機器を活用することができていると考えられます。

一方、質問29-3について肯定的に回答した児童・生徒の割合は、他の質問の結果に比べて低い値となっています。図、表、グラフ、思考ツールなどを使う目的や必要性を明らかにし、目的に応じた情報の整理の仕方等を身に付けさせる指導が考えられます。

〔参考〕令和7年度全国学力・学習状況調査 クロス集計〔児童・生徒質問－教科〕

質問29-3 あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか。



上記のクロス集計分析結果から、PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことについて自信がある（肯定的な回答をしている）児童・生徒ほど、各教科の平均正答率が高くなっていることがわかります。

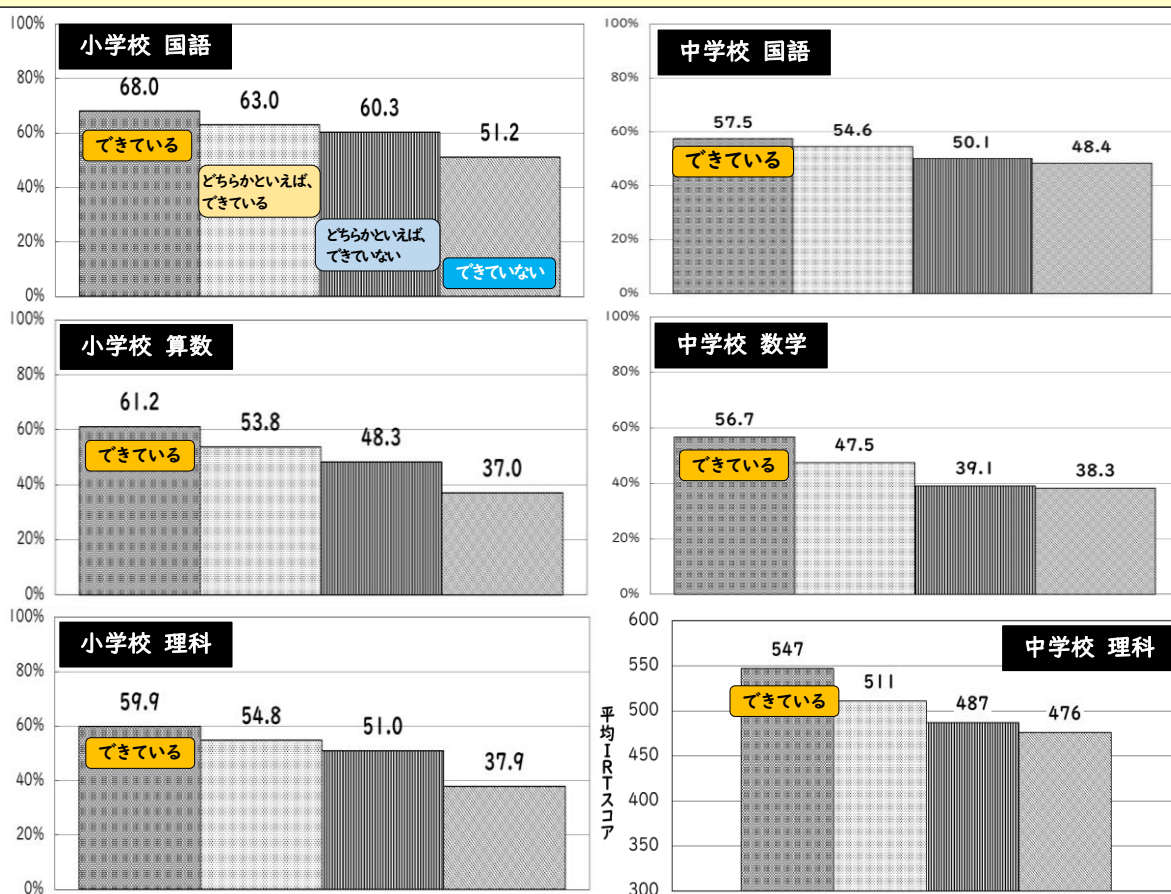
なお、クロス集計は、相関関係（※）がみられるかを分析したものであり、因果関係を示したものではないことに留意が必要です。

※ 2つの項目の間の何らかの関係性のことをいいます。

6 あつぎの学びの充実・改善のヒント

【児童・生徒質問と教科の平均正答率とのクロス集計分析結果より】

質問 16 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



上のグラフは、学習習慣、学習環境等に関する児童・生徒質問調査（質問 16）と教科の平均正答率・平均 IRT スコアとのクロス集計分析結果を表したものです。どの教科においても、肯定的な回答をしている児童・生徒ほど平均正答率・平均 IRT スコアが高いことがわかります。このことから、主体的な学習の調整をすることができていると考える児童・生徒ほど平均正答率・平均 IRT スコアが高くなる傾向があることが考えられます。このような相関関係は、下記の主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に関する児童・生徒質問調査と教科の平均正答率・平均 IRT スコアとのクロス集計分析結果においても見ることができます。

質問 31 5年生（1、2年生）までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

質問 36 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

質問 37 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思っていますか

資質・能力の確実な育成に向けて、学習指導要領には「社会に開かれた教育課程」の実現が重要であり、児童・生徒が、「何ができるようになるか」、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」、「指導・生徒一人一人の発達をどのように支援するか」、「何が身に付いたか」、「実践するために何が必要か」の視点から、教育課程に基づく日々の教育活動を展開することが示されています。



厚木市教育委員会